

ソフトウェア使用許諾契約書

同梱のCD-ROMを開封する前に、下記の「ソフトウェア使用許諾契約書」を必ずお読みください。

当社では、お客様に対して下記ソフトウェア使用許諾契約を設けさせていただいております。お客様が本契約の内容にご同意いただいた場合のみ、ソフトウェアの使用を許諾しております。

また、お客様が同梱のCD-ROMの包装を開封されますと、本契約の内容にすべてご同意いただけたものとみなさせていただきます。

あらかじめご了承ください。

ソフトウェア使用許諾契約書

■総則

コクヨ株式会社（以下「弊社」と言います）は、本契約書と共にソフトウェア製品（以下「本製品」と言います）を使用する非独占的で譲渡不可能な権利をお客様（以下「使用者」と言います）に許諾し、使用者も下記条項にご同意いただくものとします。

■第1条 用語定義

- 「ソフトウェア」とは、記録媒体の種類にかかわらず本使用条件に基づいて使用者に提供される、本製品に含まれるプログラム本体と、オンラインヘルプマニュアル、および部品類の構成部品からなるオリジナルコピーをいいます。また、弊社が使用者に対して任意でライセンスするアップグレード、修正版、更新、追加、コピーを含むものとします。
- 「ソフトウェア複製物」とは、コンピュータで読み取り可能な形で複製されたソフトウェアのすべて、または一部の複製物（付録の画像データ、フォントなど）を言います。
- 「ドキュメント」とは、本製品に含まれる取扱説明書、その他の印刷物を指します。
- 本ソフトウェアは、一時記憶装置（例えばRAMまたはハードディスク、その他のコンピュータ用記憶装置）にインストールされることにより、使用されたものと見なします。

ソフトウェア使用許諾契約書

■第2条 ご使用条件

- (1) ソフトウェアに関するすべての権利は弊社に帰属します。
- (2) ソフトウェアおよびドキュメントに含まれる商標は、弊社の日本国およびその他の国における商標または登録商標です。第三者の商標、製品名、およびロゴは、各所有者の商標または登録商標である場合があります。本契約は、弊社またはそのサプライヤーの名前またはそれぞれの商標を使用する権限を使用者に与えるものではありません。
- (3) 使用者は、1台のコンピュータに限り、ソフトウェアを主記憶装置に読み込み使用できます。
- (4) 使用者は、ソフトウェアを保存およびバックアップする目的でソフトウェア複製物を作成できます。但し、使用者が作成した複製物の著作権は弊社に帰属するものとし、記録媒体の所有権は使用者に帰属するものとします。
- (5) 使用者は、ソフトウェアが非常に複雑なものであり、かつ必ず何らかのバグを有していることを理解していただくと共に、自らの費用と責任において、バックアップの作成等、ソフトウェアを利用した業務の管理を行っていただくものとします。
- (6) 本製品は弊社を通じて購入された使用者が日本国内のみでご使用になれます。

■第3条 禁止事項

- (1) 使用者は、本契約に規定された使用条件以外にソフトウェア複製物を作成することはできません。
- (2) 使用者は、ソフトウェアやドキュメントの複製物を配布したり販売することはできません。
- (3) 使用者は、同時に複数のコンピュータでソフトウェアまたはソフトウェア複製物を使用することはできません。
- (4) 使用者は、承諾なしにソフトウェアを改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。
- (5) 使用者は、ソフトウェアやドキュメントの弊社の著作権表示及び商標を変更、削除、または不鮮明にしたり、見えない様にしたりすることはできません。
- (6) 使用者は、ソフトウェアやドキュメントを改変することはできません。
- (7) 使用者は、ソフトウェアやドキュメントを第三者と共同で使用、譲渡、または第三者が使用することを許諾してはなりません。
- (8) 使用者は、弊社との書面による事前の承諾無しに、ソフトウェアやドキュメント、並びに他の商品と抱き合わせた商品やシステムを、営利の目的で直接または間接的な方法で転売、出荷、転用もしくは輸出、再輸出してはなりません。

■第4条 保証

- (1) 弊社は、ソフトウェアおよびドキュメントに物理的欠陥があった場合、使用者がご購入になった日から30日以内に限り無償で交換もしくは修復させていただきます。
- (2) 弊社は、ソフトウェアが特定の要求を満たすことを保証しません。使用者がソフトウェアを特定の業務に運用した結果生じる影響については、弊社並びにその販売代理店は一切責任を負わないものとします。
- (3) 弊社は、使用者が通常の方法によらず誤ってデータを破損した場合の責任を負わないものとします。
- (4) 弊社はいかなる場合も、ソフトウェアの使用、あるいは使用できなかったことにより発生した利益や資産の喪失、情報やデータの喪失、その他の偶発的な損害を含む一切の損害について、使用者に対して責任を負いません。
- (5) 弊社は使用者に対していかなる第三者からなされた賠償請求にも応じません。
- (6) 弊社は、ソフトウェアに対して何らかの変更が加えられている場合、および推奨されている以外のハードウェア構成、プラットフォームまたはオペレーティングシステム上でソフトウェアを使用したことに起因して障害が発生した場合は、使用者に対して一切責任を負いません。
- (7) 弊社は、ソフトウェアの使用およびその効果的正確性、正確性、確信性については一切使用者に対して責任を負いません。
- (8) 万一、本条（1）の保証期間中に使用者より本保証に反する製品が返送されてきた場合には、弊社は、その選択に従って、使用者が支払った料金を返還するか、無償で新品と交換します。この場合、保証期間は本条（1）の保証期間の残日数、または10日のどちらか長いほうとします。
- (9) 弊社は、そのディーラー、販売店、代理店、もしくは従業員より与えられたいかなる口頭または書面による情報もしくは助言も、保証を成立させるものではなく、本契約上定める保証の範囲を拡大することは一切ありません。
- (10) 弊社はソフトウェアについて、いかなる技術サポートまたは救済も行いません。
- (11) 万が一弊社が損害賠償責任を負う必要がある場合は、その法律上の構成の如何を問わず、使用者が支払った本製品の代金相当額をもってその限度とします。
- (12) 弊社は上に明記された以外の全ての保証を明確に放棄し、何ら責任を負わないものとします。

■第5条 契約期間

- (1) 本契約は、使用者が本製品を購入した日から、使用者がソフトウェアとソフトウェア複製物及びドキュメントを弊社に返却する日まで有効とします。
- (2) 使用者が本契約のいずれかの条項に違反したときは、弊社は事前の通告なしに本契約を終了することができます。その場合、使用者は自己の負担において弊社にソフトウェアとソフトウェア複製物並びにドキュメントを返却するか、またはすべてを破棄したことを示す文書を送付しなければなりません。

■第6条 その他

- (1) 本契約は日本法に準拠し、解釈されます。
- (2) 本契約にかかわる紛争は、大阪地方裁判所を第一審の管轄裁判所として解決するものとします。
- (3) 本契約の一部が法律に適合しなくなった場合は、その部分は本契約から除外します。ただし、その他の部分は影響を受けないものとします。

安全上のご注意

ご使用になる前によくお読みいただき、必ずお守りください。

- この項目では、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防ぎ、本商品を安全にご使用いただくための注意事項を記載しています。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に、大切に保管してください。

■それぞれの表示と意味は、以下の通りです。



この表示は、「取り扱いを誤ると、軽傷を負うかまたは、物的損害が発生する可能性がある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、以下の絵表示で区分しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 注意



基本的な操作方法は、Windows Vista/7/8/8.1/10に準拠します。必ずパソコン付属の取扱説明書を十分にご理解いただいた上で、本商品をご利用ください。



タイトルブレン本体の取り扱いについては、必ず本体付属の取扱説明書をお読みください。



付属のディスクは、パソコン専用のCD-ROMです。オーディオ用のCDプレーヤーで再生しないでください。
機器やデータを破損するおそれがあります。



インストール時などに、CD-ROMドライブのアクセスランプが点灯しているときは、絶対にCD-ROMを取り出さないでください。



当社商品が万一故障した場合、各種の損害を防止するための十分な安全対策を施してご使用ください。



仕様に示された規格以外での使用、または改造された商品については、機能および性能の保証はできかねますのでご留意ください。



当社商品を他の機器と組み合せてご使用になる場合、使用条件、環境などにより、機能および性能が満足できない場合がありますので、十分ご検討のうえご使用ください。



タイトルプレーン本体とパソコンを接続するときは、必ずタイトルプレーン本体の電源を切った状態で行ってください。



長時間の使用にともなう眼などの疲れにご注意ください。

安全上のご注意

CD-ROMについて以下の内容を守らないと、パソコンで読み込むことができなくなったり、CD-ROMやデータの破損の原因になります。



CD-ROMを直射日光があたる場所、湿気やホコリの多い場所、冷暖房器具などの近く、振動や強い磁気を発生する電化製品の近くでの使用や保管はしないでください。



CD-ROMを持つときは、外側の端か、中央の穴のところを持つようにし、表面を汚さないようにしてください。



CD-ROMを折り曲げたり、表面を傷つけたり、文字などを書かないでください。



CD-ROMの上に重いものを置かないでください。



CD-ROMは専用のケースに入れ、清潔に保護してください。



CD-ROMが汚れたりホコリをかぶったりしたときは、乾燥した清潔な布で拭きしてください。

この取扱説明書の見かた

この取扱説明書では、マークや画面用語、マウス操作などの表記を以下のように表しています。

※本文中で使用している画面は、お使いのパソコンの設定によっては画面の一部のデザインなどが異なる場合があります。

マークの意味



ご注意

作業を進めていく上での注意事項を掲載しています。



MEMO

知っておくと役に立つ情報や、そこで説明されていることの付加内容や少し違った使いかたなどを紹介しています。



参照

そこでの作業が、より詳しく説明されている他のページを紹介しています。

画面用語の表記について

表記例	説明
【ファイル】メニュー	メニュー名は、【 】で囲んでいます。
【開く】	コマンド名は、【 】で囲んでいます。
[OK]	ボタン名は、[]で囲んでいます。
[表の設定]	タブ名は、[]で囲んでいます。

この取扱説明書の見かた

マウス操作の表記について

表記例	説明
 クリック	マウスの左側のボタンを1回押す操作です。
 ダブルクリック	マウスの左側のボタンをすばやく2回押す操作です。
 右クリック	マウスの右側のボタンを1回押す操作です。
ポイント	マウスポインタを目的の場所に置く操作です。
ドラッグ	マウスの左側のボタンを押しながらマウスを移動させる操作です。(目的の位置でボタンを離します。)

キーの表記について

表記例	説明
 キー	パソコンのキーボードのキーを示しています。

操作方法を具体的に説明するための例示です。

※このページは、例示のために作成したもので、実際のページとは異なります。

もくじと対応しています。

5. ラベルを作りましょう

ラベルの入力・編集のしかた

※インデックスラベル（シートNo.：HV）で説明していますが、他のラベルも基本手順は同じです。



インデックスラベル タ-21a
シートNo.：HV

操作手順です。

1 アプリケーションを起動してください。

「参照」マーク



アプリケーションの起動のしかた……26ページ

参照

2 起動すると初期画面が表示されます。
[新規シート作成] をクリックしてください。



「MEMO」マーク



MEMO

別シート作成中やファイルを開いた状態、またはラベルを表示せずにアプリケーションを起動した状態で、【ファイル】メニューから【新規シート作成】を選択することもできます。
([新規シート作成] をクリックしても選択できます。)

「ご注意」マーク



ご注意

3 シートNo. を半角の英大文字で入力し、[OK] をクリックしてください。

シートNo. は、半角の英大文字で入力してください。(全角文字・小文字は使用できません。)



5 ラベルを作る

パソコンに表示される画面のイメージです。説明文と対応しています。操作中のパソコンの画面と比較しながらご覧ください。
※なお、実際の画面とは画面の一部のデザインなどが異なる場合があります。

インデックス

取扱説明書の構成ともくじ

この商品をお使いいただく前に、特長や機能について紹介しています。

1.この商品の特長

多種多様なラベルに対応	13
便利な入力・編集機能	13
多様な印刷設定機能	14
本体ファイルのバックアップが可能	14

この商品をお使いいただくための準備と接続のしかたについて説明しています。

2.準備

使用できるパソコンの条件	15
・アプリケーション動作環境	15
インストール・アンインストールのしかた	16
・インストールのしかた	16
・アンインストールのしかた	21
タイトルプレーンとパソコンの接続のしかた	22
・接続のしかた	22
・接続の解除のしかた	25

起動と終了のしかたについて説明しています。

3.起動と終了

アプリケーションの起動のしかた	26
アプリケーションの終了のしかた	27

画面各部のなまえとそれぞれの機能について説明しています。

4.画面のなまえとはたらき

初期画面	28
ラベル編集画面	28
テンプレート編集画面	29
タイトルバー・スクロールバー・ステータスバー	29
メニューバー・ツールバー	30
メニューバーの各コマンドの機能	31
ツールバーの各ボタンの機能	34

この商品で作れるラベルの紹介と作りかたを一連の操作で説明しています。

5.ラベルを作りましょう

対応ラベルについて	40
・TITLE BRAIN対応マークについて	40
・ラベルの材質について	40
・特別なサイズのラベル・用紙	40
・包装やラベルに表示されている項目について	41
・ラベルの位置表示について	42
作れるラベルの種類について	43
・タックラベル	43
・インデックスラベル	43
・ライン入りラベル	43
・ボックスファイリングラベル	43
・フロッピーディスクラベル	43
ラベルの入力・編集のしかた	44
ラベルの印刷のしかた	55
ラベルの保存のしかた	63
ファイルの開きかた	64

基本入力・編集操作についてより詳しく説明しています。

6.入力・編集機能について

オブジェクトについて	65
・オブジェクトとは	65
・オブジェクト選択	65
・基準オブジェクト	65
・選択オブジェクト・基準オブジェクトの切替え	66
文字の修飾	67
・フォントの変更	67
・文字サイズの変更	68
・文字飾り・文字の回転・文字揃えの設定	68
・文字サイズ調整モードの設定	70
・テキストボックス最大化の設定	70
・縦書き・横書き・文字の配置の設定	71
書式設定の変更のしかた	73
・2つの書式設定について	73
・シート書式設定の変更	73
・テキスト書式設定の変更	74
オブジェクトの入力(テキストボックス・図形)と線幅の設定	75
・テキストボックスの作成	75
・直線の入力	76
・四角形の入力	76
・円の入力	77
・連続直線の入力	77
・自由曲線の入力	78
・線幅の設定	78
オブジェクトの配置について	79
・左右中央・上下中央・上下左右中央配置	80
・オブジェクトの整列	80
・オブジェクトの移動(重ね順序)	81
・オブジェクトのロック/ロック解除	81
画像のインポートのしかた	83

その他の便利な機能について説明しています。

7.その他の機能について

連番設定のしかた	85
テンプレートの作りかた	89
表の作りかた	92
自由用紙設定のしかた	98
・シート(用紙)サイズについて	99
・自由用紙設定のしかた	99
データファイルの読み込みかた	101
・データファイルの読み込み・編集のしかた	101
・読み込んだデータの変更・修正のしかた	110

タイトルブレイク 2 で登録したファイルを、パソコンでバックアップする機能について説明しています。

8.本体ファイルのインポート/エクスポート

本体ファイルのインポートのしかた	114
本体へのファイルのエクスポートのしかた	117
本体ファイル/パソコンバックアップファイルの削除のしかた	119

エラーメッセージが表示されたときの原因と処置のしかたについて説明しています。

9.故障かな?と思ったら(不調診断)

エラー表示について	121
-----------	-----

10.索引

索引	123
----	-----

1.この商品の特長

このアプリケーションはパソコンでタイトルブレーン対応のラベルを入力・編集するためのソフトです。タイトルブレーン本体とパソコンを接続し、印刷や本体ファイルのバックアップを行うことができます。



多種多様なラベルに対応

インデックスラベル、タックラベル、ライン入りラベル（備品ラベル・図書ラベル）、ボックスファイリングラベル、フロッピーディスクラベルなど多様なラベルに印刷できます。(43ページ参照)



便利な入力・編集機能

●改ラベル機能 (50ページ参照)

同じシートで複数種類のラベルを入力するときに便利な機能です。

●画像のインポート機能 (83ページ参照)

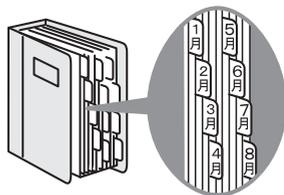
お気に入りの画像（BMP形式のファイルのみ）をインポートして、ラベルを作ることができます。

●連番設定機能 (85ページ参照)

連続する数字・アルファベット・ひらがな・カタカナを一度に入力するときに便利な機能です。

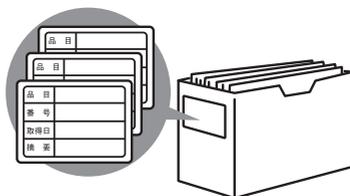
●テンプレート作成機能 (89ページ参照)

テンプレートを作って改ラベルをすると、すべてのラベルに同じ表記内容を入れることができます。決まった書式のラベル作りなどに便利な機能です。



●表作成機能 (92ページ参照)

ラベル内に表組みを作ることができます。備品ラベルを作るときなどに便利な機能です。



●データファイルの読み込み機能 (101ページ参照)

別のアプリケーションで作成したデータファイル (CSV形式・XLS形式のファイルのみ) から、テキスト情報を参照してラベルを作ることができます。

多様な印刷設定機能

●印刷開始位置設定 (56ページ参照)

途中まで使っているシートに印刷するときに便利な機能です。



●スキップ印刷機能 (56ページ参照)

ラベルがはがれているシートに印刷するときに便利な機能です。



●鏡印刷機能 (57ページ参照)

ガラスなどに裏から貼る透明なラベルを印刷するときに便利な機能です。

本体ファイルのバックアップが可能

タイトルブレーン2本体で登録したファイルを、パソコンでバックアップすることができます。また、バックアップしたファイルを、タイトルブレーン2本体に戻すことができます。(114ページ参照)

2.準備

使用できるパソコンの条件

■アプリケーション動作環境

- 対応機種……………PC/AT互換機（DOS/V機）
- 対応OS……………日本語 Windows Vista/7/8/8.1/10
（上記のいずれかがプリインストールされたPC）
- 必要装備……………CD-ROMドライブ、USBポート
- CPU処理能力……………Windows Vista Home Basicの場合800MHz以上、
Windows Vista Home Premium以上の場合1GHz以上、
Windows7/8/8.1/10の場合1GHz以上
- メモリ容量……………Windows Vista Home Basicの場合512MB以上、
Windows Vista Home Premium以上の場合1GB以上、
Windows7/8/8.1/10 32bitの場合1GB以上、
64bitの場合2GB以上

- ハードディスク
占有容量……………約10MB
- ディスプレイ……………解像度800×600（SVGA）以上
- インターフェイス……………USB1.1以上
- ブラウザ……………Internet Explorer 6以上推奨

※ご使用するパソコンのOS推奨スペックにしたがう必要があります。

インストール・アンインストールのしかた

■インストールのしかた

アプリケーション「SOFT TITLE BRAIN」およびタイトルプレーン本体をパソコンに認識させるためのドライバソフトをパソコンにインストールします。



ご注意

- タイトルプレーンを接続してインストールしないでください。インストールをする前にタイトルプレーンを接続すると、インストールウィザードが表示されます。この場合は、接続を外して[キャンセル]をクリックしてください。
- 必ずアドミニストレータ(管理者)権限でパソコンを起動してインストールしてください。正しく動作しないことがあります。

2 準備

1 インストールを始める前に、起動しているすべてのアプリケーションプログラムを終了させてください。

2 インストール用CD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れてください。

自動的にインストーラが起動します。

※右図画面は、お客様の設定で表示される場合と表示されない場合があります。

表示内容を確認し[次へ]をクリックしてください。



クリック



MEMO

〈自動的にセットアップ開始画面が表示されない場合〉

1. [コンピューター] をクリックし、[CD-ROM] のアイコンをダブルクリックすると右の画面が表示されます。
2. setup.exeをダブルクリックしてください。



2.準備



MEMO

〈セットアップを中止する場合〉

1. 各画面の [キャンセル] をクリックしてください。

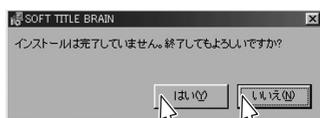
2. 右図のようなインストールの中断を確認する画面が表示されますので、[はい] をクリックしてください。

※ セットアップを続ける場合は、[いいえ] をクリックしてください。

3. インストールが中断されます。
[閉じる] をクリックしてください。
(再度実行するためにインストーラを再起動する必要があります。)



クリック



クリック クリック
(中断する場合) (続ける場合)



クリック

3

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら [許可(A)] あるいは「はい(Y)」をクリックしてください。

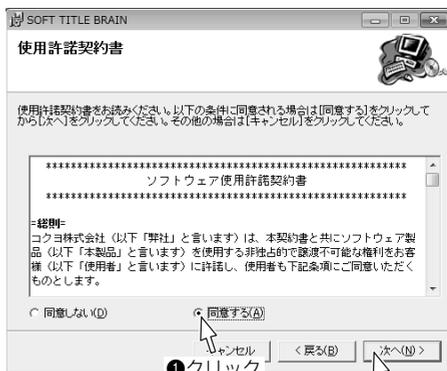
Windows Vista/7/8/8.1/10をご使用の場合、プログラム発行元確認の画面が表示されます。

4 「使用許諾契約書」画面が表示されます。内容を確認し、同意される場合は「同意する」をクリックしてから「次へ」をクリックしてください。



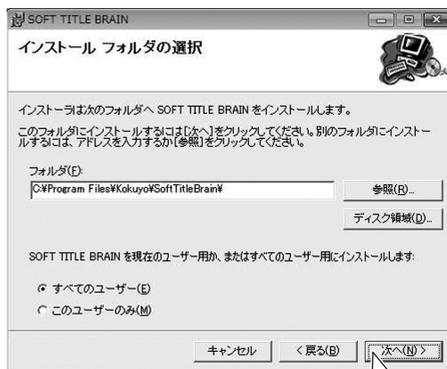
MEMO

前の画面に戻りたいときは、各画面の「戻る」をクリックしてください。



② クリック

5 「インストール フォルダの選択」画面が表示されます。インストールするフォルダを選択し、「次へ」をクリックしてください。



クリック

2.準備

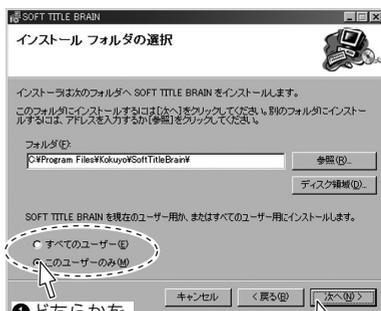


MEMO

●このアプリケーションソフトをすべてのユーザーでご使用の場合は、[すべてのユーザー]に、現在ログインしているユーザーのみがご使用の場合は、[このユーザーのみ]にチェックし、[次へ]をクリックしてください。

※[このユーザーのみ]にチェックを入れてインストールした場合、他のユーザー名でログイン時はデスクトップ上のアイコンおよび[スタート]ボタン内のメニューは表示されません。

●[ディスク領域]をクリックすると、インストールするために必要な空きディスク容量とドライブの空きディスク容量が確認できます。



①どちらかを選択してクリック

②クリック

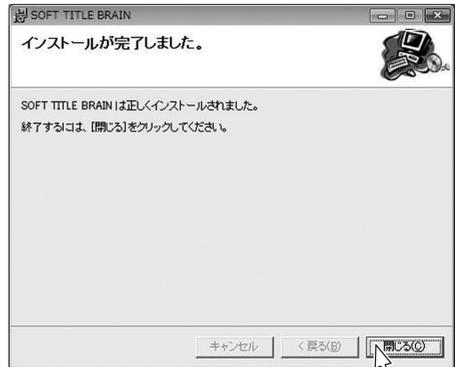


6 「インストールの確認」画面が表示されます。
[次へ]をクリックすると、インストールが開始されます。



クリック

7 右図の画面が表示されたら、インストールは完了です。[閉じる]をクリックしてください。



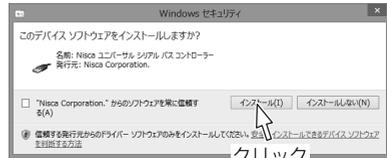
クリック



MEMO

〈Windows 8/8.1/10の場合〉

インストール完了画面が表示されると同時に、右の画面が表示されます。インストールをクリックしてください。



クリック

8

CD-ROMをドライブから取り出してください。

※CD-ROMは、なくさないように大切に保管してください。



MEMO

ご使用のパソコン環境によってはインストール途中で再起動を求められることがあります。その場合は画面の指示に従ってください。再起動後に再びインストーラが起動しますので、「2」～「8」の手順を行ってください。

2.準備

■アンインストールのしかた

パソコンからアプリケーションを削除（アンインストール）する場合は、以下の手順で行ってください。

- 1 「スタート」ボタンから【コントロールパネル】をクリックし、【プログラム】【プログラムのアンインストール】をクリックします。



MEMO

Windows10の場合、「スタート」ボタンから【設定】【システム】【アプリと機能】をクリックしてください。

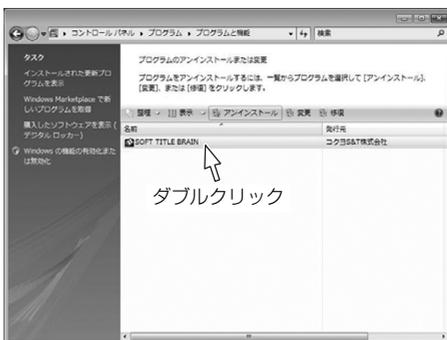


- 2 「プログラムのアンインストールまたは変更」画面が表示されたら「SOFT TITLE BRAIN」を選択してダブルクリックしてください。



MEMO

Windows10の場合、【SOFT TITLE BRAIN】【アンインストール】をクリックしてください。



- 3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[許可(A)]あるいは「はい(Y)」をクリックしてください。
アンインストールが実行されます。
Windows Vista/7/8/8.1/10の場合、プログラム発行元確認の画面が表示されます。

タイトルブレーンとパソコンの接続のしかた

■接続のしかた

1 パソコンの電源を入れて、Windows が起動したことを確認してください。

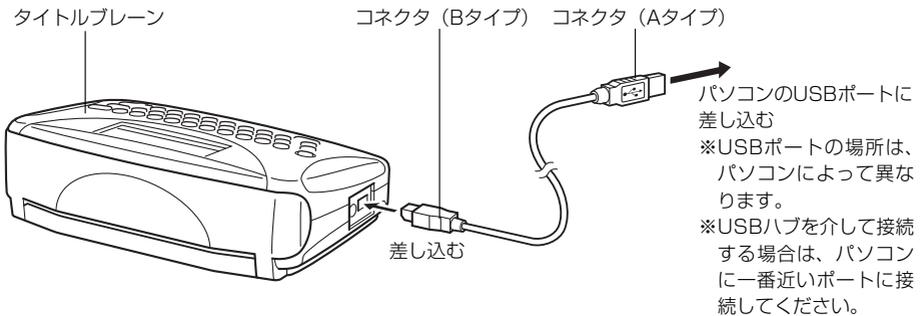
2 パソコンのUSBポートに、USBケーブルのコネクタ（Aタイプ）を接続してください。



USBポートの場所は、パソコンによって異なります。パソコンに付属の取扱説明書を参照してください。

参照

3 タイトルブレーンの電源が切れていることを確認し、タイトルブレーンの側面に、USBケーブルのコネクタ（Bタイプ）を接続してください。



USBケーブルのコネクタの形状と向きを確認して、接続してください。

〈タイトルブレーンの側面〉

Bタイプのコネクタを接続します。



〈パソコン側〉

Aタイプのコネクタを接続します。



2.準備

4

タイトルブレーンの電源を入れてください。



参 照

タイトルブレーンの電源については、同梱のタイトルブレーン本体の取扱説明書を参照してください。

5

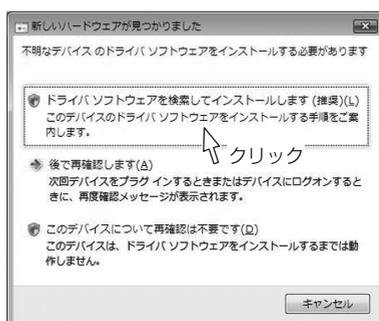
自動的にドライバのインストールが開始されます。(初回接続時のみ)



MEMO

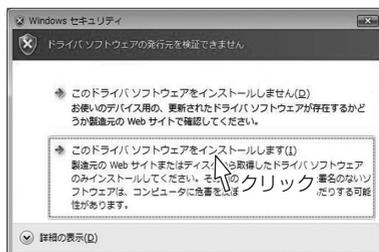
＜Windows Vistaの場合＞

1. 最初の接続時に認識のための「新しいハードウェアが見つかりました」画面が表示されます。[ドライバソフトウェアを検索してインストールします (推奨) (L)] をクリックしてください。



2. 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[続行(C)] をクリック。

● 「Windows セキュリティ」画面が表示されたら、[このドライバソフトウェアをインストールします (I)] をクリックします。





〈Windows 7の場合〉

最初の接続時に図のようなポップアップ画面が表示され、インストールが完了したら、画面が消えます。



〈Windows 8/8.1/10の場合〉

最初の接続時に「デバイスの設定」画面が表示され、インストールが完了したら、画面が消えます。



2.準備

6

タイトルブレーンがパソコンに認識されます。



MEMO

- タイトルブレーン2は、画面に「PC接続中」と表示されます。

■接続の解除のしかた

タイトルブレーン本体の電源を切り、USBケーブルを外してください。



MEMO

パソコンは電源を切る必要はありません。
そのままUSBケーブルを外してください。

3.起動と終了

アプリケーションの起動のしかた

1 インストール完了後、デスクトップ上にショートカットが作られますので、[SOFT TITLE BRAIN] アイコンをダブルクリックしてください。



ダブルクリック



参照

インストールのしかた… 16ページ



MEMO

- [スタート] ボタンから、**【すべてのプログラム】 ▶ 【Kokuyo】 ▶ 【SOFT TITLE BRAIN】** を選択しても起動できます。
- アドミニストレータ（管理者）以外の権限でインストールされた場合は、メニュー内の位置が異なる場合があります。



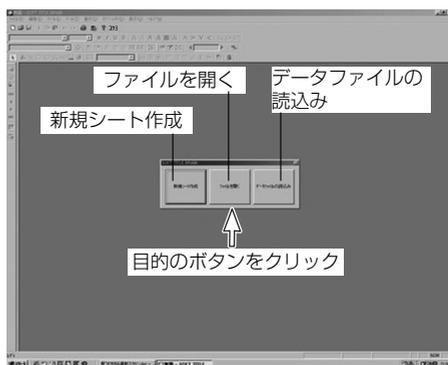
①クリック

2 起動すると、初期画面が表示されます。目的のボタンをクリックしてください。



参照

- 新規シート作成… 44ページ
- ファイルを開く… 64ページ
- データファイルの読み込み… 101ページ



2 準備

3 起動と終了

3.起動と終了

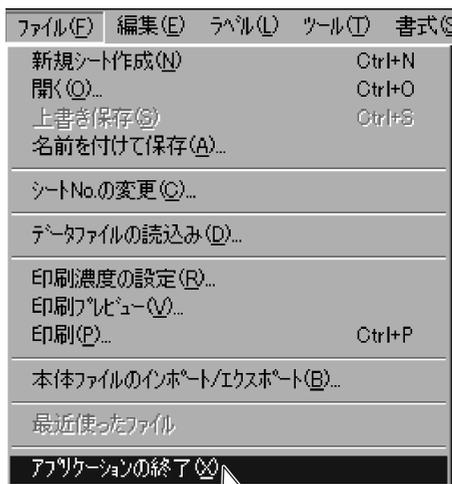
アプリケーションの終了のしかた

【ファイル】メニューから【アプリケーションの終了】を選択してください。



MEMO

画面右上の  をクリックしても終了できます。



クリック



ご注意

ファイルを保存しないまま終了操作をすると、右の保存を確認する画面が表示されます。【いいえ】をクリックすると、作成したラベルの内容が破棄されアプリケーションを終了します。一度破棄された内容は、元に戻りませんのでご注意ください。

※保存する場合は【はい】をクリックしてください。

※【キャンセル】をクリックすると、ラベル編集画面に戻ります。



参照

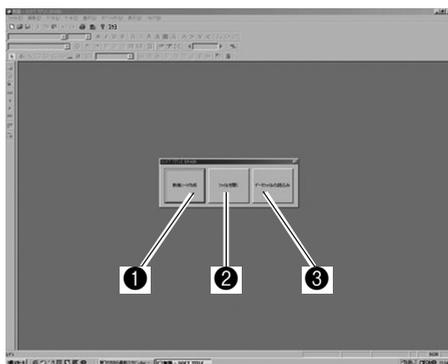
.....
ラベルの保存のしかた..... 63ページ
.....

4.画面のなまえとはたらき

初期画面

起動時に表示されます。

- ① [新規シート作成] ボタン
新規シートを作成する場合にクリックします。
- ② [ファイルを開く] ボタン
保存しているラベルのファイルを開く場合にクリックします。
- ③ [データファイルの読み込み] ボタン
別のアプリケーションで作成したデータファイルを読み込み、ラベル上にレイアウトする場合にクリックします。



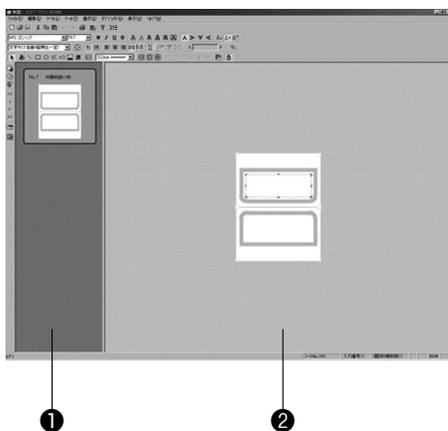
参照

- 新規シート作成…………… 44ページ
- ファイルを開く…………… 64ページ
- データファイルの読み込み…………… 101ページ

ラベル編集画面

新規シート作成時や既存のファイルを開いた場合に表示されます。

- ① ラベル管理画面
ラベルの新規作成や、ラベルの複製、ラベルの個別印刷枚数の設定など、入力全体の管理をする画面です。
【ラベル】メニューの【ラベル管理画面表示】のチェックを外すことで、非表示にすることができます。
- ② ラベル入力画面
個々のラベルの文字入力や図形描画を行う画面です。



参照

- …………… ラベルの入力・編集のしかた… 44ページ

3 起動と終了

4 画面のなまえ

4.画面のなまえとはたらき

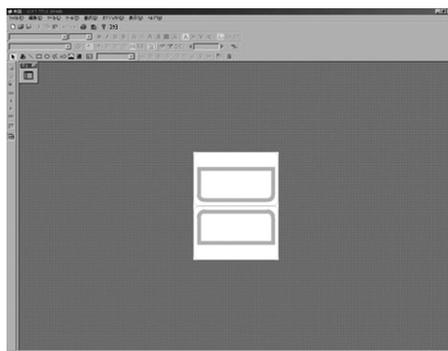
テンプレート編集画面

テンプレート作成時や表作成時に表示されます。



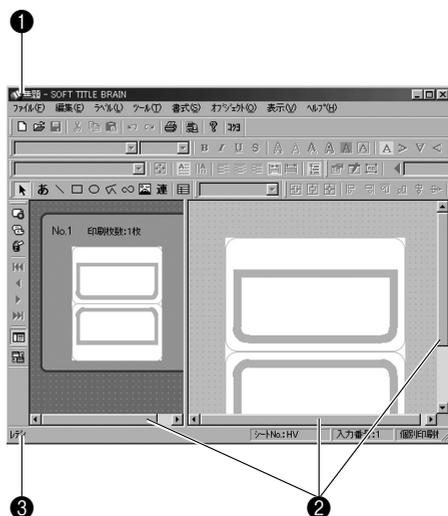
- テンプレートの作りかた…… 89ページ
- 表の作りかた…… 92ページ

参照

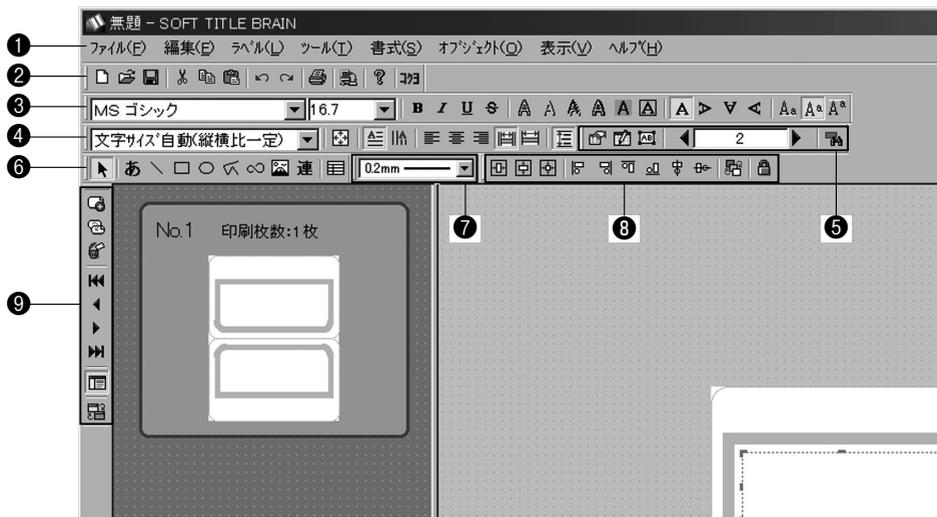


タイトルバー・スクロールバー・ステータスバー

- ① タイトルバー
作成しているシートのファイル名などが表示されます。新規シートの場合は、「無題」と表示されます。
- ② スクロールバー
画面の表示を上下左右にスクロールします。
- ③ ステータスバー
コマンドの説明や、シートNo.、入力番号、個別印刷枚数などが表示されます。



メニューバー・ツールバー



- ① メニューバー (31～33ページ参照)
- ② 標準ツールバー (34ページ参照)
- ③ 文字ツールバー (35ページ参照)
- ④ テキスト配置ツールバー (36ページ参照)
- ⑤ データ読み込みツールバー (37ページ参照)
- ⑥ オブジェクト作成ツールバー (37ページ参照)
- ⑦ 線幅設定ツールバー (38ページ参照)
- ⑧ オブジェクト配置ツールバー (38ページ参照)
- ⑨ ラベルツールバー (39ページ参照)

4.画面のなまえとはたらき

メニューバーの各コマンドの機能

メニュー名をクリックすると、下記のようなコマンド一覧が表示されます。

ファイル(F) 編集(E) ラベル(L) ツール(T) 書式(S) オブジェクト(O) 表示(V) ヘルプ(H)

■ 【ファイル】メニュー

ファイル(F)	編集(E)	ラベル(L)	ツール(T)	書式(S)
新規シート作成(N)				Ctrl+N
開く(O)				Ctrl+O
上書き保存(S)				Ctrl+S
名前を付けて保存(A)				
シートNoの変更(C)				
データファイルの読み込み(O)				
印刷濃度の設定(B)				
印刷プレビュー(O)				
印刷(P)				Ctrl+P
本体ファイルのインポート/エクスポート(O)				
1 HV_東京.ktb				
2 HV_大阪.ktb				
アプリケーションの終了(S)				

コマンド	機能	参照ページ
【新規シート作成】	新規シートを作成します。	44
【開く】	既存のファイルを開きます。	64
【上書き保存】	作業中のファイルを上書きして保存します。	
【名前を付けて保存】	作業中のファイルを、新しい名前で別ファイルとして保存します。	63
【シートNo.の変更】	編集集中データのシートNo.を変更します。	45
【データファイルの読み込み】	新規にシートを作成し、別のアプリケーションで作成したデータファイルからテキスト情報を読み込みます。	101
【印刷濃度の設定】	印刷濃度を設定します。	61
【印刷プレビュー】	印刷プレビューを表示します。	52
【印刷】	作業中のファイルを印刷します。	55
【本体ファイルのインポート/エクスポート】	本体ファイルのインポート/エクスポートをします。 ※タイトルプレーン2のみに使える機能です。	114
【最近使ったファイル】	最近使ったファイルが表示されます。この中からも指定のファイルを開くことができます。	-
【アプリケーションの終了】	アプリケーションを終了します。	27

■ 【編集】メニュー

編集(E)	ラベル(L)	ツール(T)
元に戻す(U)		Ctrl+Z
やり直し(R)		Ctrl+Y
切り取り(T)		Ctrl+X
コピー(C)		Ctrl+C
貼り付け(P)		Ctrl+V
全体選択(A)		Ctrl+A

コマンド	機能	参照ページ
【元に戻す】	直前に行った操作を元に戻します。	
【やり直し】	【元に戻す】で元に戻した操作を再度やり直します。	
【切り取り】	選択範囲を切り取ってクリップボードに保存します。	-
【コピー】	選択範囲をコピーしてクリップボードに保存します。	
【貼り付け】	クリップボードの内容を貼り付けます。	
【全体選択】	すべてのオブジェクトを選択します。	79



ご注意

【元に戻す】【やり直し】コマンドは、新規ラベル作成やラベル複製、テンプレートや表の作成などで、編集集中のラベルを切替えると内容がクリアされ、実行できなくなります。

■ 【ラベル】メニュー

ラベル(L)	ツール(T)	書式(S)	オプション(O)
新規ラベル作成(N)	Ctrl+Shift+N		
ラベル複製(C)			
ラベル削除(D)			
表示ラベル切替え(A)			
ラベル順序入替え(Q)			
ラベル管理画面表示(S)			
テンプレート編集画面表示(T)			

コマンド	機能	参照ページ
【新規ラベル作成】	新規にラベルを作成します。	50
【ラベル複製】	選択しているラベルを複製します。	51
【ラベル削除】	選択しているラベルを削除します。	
【表示ラベル切替え】	先頭・前・次・最終ラベルに移動します。	
【ラベル順序入替え】	ラベルの順序を上へ・下へ入替えます。	
【ラベル管理画面表示】	ラベル管理画面の表示/非表示を切替えます。	28
【テンプレート編集画面表示】	ラベル編集画面/テンプレート編集画面を切替えます。	89・92

■ 【ツール】メニュー

ツール(T)	書式(S)	オプション(O)
• 選択ツール(S)		
文字ツール(T)		
直線ツール(L)		
四角形ツール(R)		
円ツール(E)		
連続直線ツール(M)		
自由曲線ツール(B)		
画像ツール(I)		
連番ツール(N)		
表作成ツール(H)		
流し込み枠ツール(D)		

コマンド	機能	参照ページ
【選択ツール】	オブジェクトを選択します。通常は自動的にこのツールが選択されています。	65
【文字ツール】	テキストボックスを作成します。	75
【直線ツール】	直線を入力します。	76
【四角形ツール】	四角形を入力します。	
【円ツール】	円を入力します。	77
【連続直線ツール】	連続直線を入力します。	
【自由曲線ツール】	自由曲線を入力します。	78
【画像ツール】	画像をインポートします。 ※BMP形式のファイルのみ	83
【連番ツール】	連番テキストボックスを作成します。(連続する数字やアルファベット、ひらがな、カタカナを一度に入力できます。)	85
【表作成ツール】	表を作成します。	92
【流し込み枠ツール】	読み込みファイルのテキストデータの流し込み枠を入力します。	106

■ 【書式】メニュー

書式(S)	オプション(O)	表示(V)
テキスト書式設定(T)	Ctrl+T	
シート書式設定(S)		
テキストボックス最大化(M)		

コマンド	機能	参照ページ
【テキスト書式設定】	選択したテキストボックスの書式を設定します。	74
【シート書式設定】	作業中のシートの書式を設定します。	73
【テキストボックス最大化】	テキストボックスを印刷範囲の中で最大サイズに設定します。	70

4.画面のなまえとはたらき

■ 【オブジェクト】メニュー

オブジェクト(O) 表示(V) ヘルプ(H)
選択オブジェクト切替え(A)
ロック(L)
配置(H) ▶
整列(S) ▶
重ね順序(Q) ▶

コマンド	機能	参照ページ
【選択オブジェクト切替え】	アクティブなオブジェクトおよび基準オブジェクトを切替えます。	66
【ロック】	オブジェクトのロック状態を切替えます。	81
【配置】	選択したオブジェクトをラベルの左右中央・上下中央・上下左右中央に配置します。	80
【整列】	選択した複数のオブジェクトを、基準オブジェクトの左端・右端・上端・下端・左右中央・上下中央位置に配置します。	
【重ね順序】	選択したオブジェクトを最前面・前面・背面・最背面へ移動します。	81

■ 【表示】メニュー

表示(V) ヘルプ(H)
▼ 標準ツールバー
▼ オブジェクト作成ツールバー
▼ ラベルツールバー
▼ 文字ツールバー
▼ テキスト配置ツールバー
▼ オブジェクト配置ツールバー
▼ データ読み込みツールバー
▼ 線幅設定ツールバー
▼ ステータスバー

コマンド	機能	参照ページ
【標準ツールバー】	各ツールバーの表示/非表示を切替えます。	34
【オブジェクト作成ツールバー】		37
【ラベルツールバー】		39
【文字ツールバー】		35
【テキスト配置ツールバー】		36
【オブジェクト配置ツールバー】		38
【データ読み込みツールバー】		37
【線幅設定ツールバー】		38
【ステータスバー】		各ツールバーの表示/非表示を切替えます。

■ 【ヘルプ】メニュー

ヘルプ(H)
トピックの検索(T)...
ホームページ(H)...
バージョン情報(A)...

コマンド	機能
【トピックの検索】	ヘルプツールを起動します。
【ホームページ】	ブラウザを起動し、ココヨホームページ (http://www.kokuyo-st.co.jp/) に接続します。(インターネット接続時のみ)
【バージョン情報】	バージョン、著作権情報を表示します。

ツールバーの各ボタンの機能

ツールバーには、標準・文字・テキスト配置・データ読込み・オブジェクト作成・線幅設定・オブジェクト配置・ラベルツールバーがあります。



MEMO

- 各ツールバーは、【表示】メニューの各ツールバーをクリックすると、表示/非表示の切替えができます。(初期状態では、全てのツールバーが表示されています。)
- 各ツールバーをドラッグして移動すると、画面のどの位置にでも置くことができます。元の位置に戻すには、各ツールバーのタイトルバーをダブルクリックしてください。

■標準ツールバー

新規シート作成や印刷など、アプリケーション全体に関する基本ツールが表示されています。



ボタン	機能	参照ページ
[新規シート作成]	新規シートを作成します。	44
[開く]	既存のファイルを開きます。	64
[保存]	作業中のファイルを上書きして保存します。	63
[切り取り]	選択範囲を切り取ってクリップボードに保存します。	-
[コピー]	選択範囲をコピーしてクリップボードに保存します。	
[貼り付け]	クリップボードの内容を貼り付けます。	
[元に戻す]	直前に行った操作を元に戻します。	
[やり直し]	[元に戻す] で元に戻した操作を再度やり直します。	
[印刷]	作業中のファイルを印刷します。	55
[本体ファイルのインポート/エクスポート]	本体ファイルのインポート/エクスポートをします。 ※タイトルプレーン2のみに使える機能です。	114
[トピックの検索(ヘルプ)]	ヘルプツールを起動します。	-
[コクヨホームページへ]	ブラウザを起動し、コクヨホームページ (http://www.kokuyo-st.co.jp/) に接続します。(インターネット接続時のみ)	

※各ボタンによる操作はメニューバー内のメニューからも行えます。

4.画面のなまえとはたらき

■文字ツールバー

フォントや文字サイズの設定、文字の装飾や回転など、文字の属性を選択するツールが表示されています。



ボタン	機能	例	参照ページ
[MS Gothic] [フォント]	フォントを選択します。	にほん	67
[16.7] [サイズ]	文字サイズを設定します。	にほん	
[太字]	文字を太字に設定します。	にほん	
[斜体]	文字を斜体に設定します。	にほん	
[下線]	文字に下線を設定します。	にほん	
[取り消し線]	文字に取り消し線を設定します。	にほん	
[白抜き]	文字を白抜きに設定します。	にほん	
[影]	文字に影を設定します。	にほん	
[立体]	文字を立体に設定します。	にほん	
[白抜き影]	文字に白抜き影を設定します。	にほん	
[バックグラウンド]	文字にバックグラウンドを設定します。	にほん	
[枠]	文字に枠を設定します。	にほん	
[回転0度]	文字の回転0度。	にほん	68
[回転90度]	文字の回転90度。	にほん	
[回転180度]	文字の回転180度。	にほん	
[回転270度]	文字の回転270度。	にほん	
横書きの場合	[下付き]	大小サイズの文字が混在する場合、行または選択文字を最大文字に対して下揃えにします。	にほん
	[中央]	大小サイズの文字が混在する場合、行または選択文字を最大文字に対して中央揃えにします。	にほん
	[上付き]	大小サイズの文字が混在する場合、行または選択文字を最大文字に対して上揃えにします。	にほん
縦書きの場合	[右付き]	大小サイズの文字が混在する場合、行または選択文字を最大文字に対して右揃えにします。	にほん
	[中央]	大小サイズの文字が混在する場合、行または選択文字を最大文字に対して中央揃えにします。	にほん
	[左付き]	大小サイズの文字が混在する場合、行または選択文字を最大文字に対して左揃えにします。	にほん

※フォント以外の各設定は【書式】メニューの【テキスト書式設定】や【シート書式設定】でも行えます。

■テキスト配置ツールバー

文字サイズ調整モード、横書きや縦書き、均等割付など、テキスト配置に関するツールが表示されています。



ボタン	機 能	例	参照ページ	
[文字サイズ自動(縦横比一定)] [文字サイズ調整モード]	文字サイズの調整モードを設定します。		70	
[テキストボックス最大化]	テキストボックスを印刷範囲の中で最大サイズに設定します。			
[横書き]	テキストボックス内の文字を横書きに設定します。		71	
[縦書き]	テキストボックス内の文字を縦書きに設定します。			
横書きの場合 [左詰め]	文字をテキストボックス内で左詰めにします。			
	[中央配置]	文字をテキストボックス内で中央揃えに配置します。		
	[右詰め]	文字をテキストボックス内で右詰めにします。		
	[均等割付]	文字をテキストボックス内で均等に割り付けます。		
	[両端割付]	文字をテキストボックス内で両端に割り付けます。		
	[均等割付 (行)]	行をテキストボックス内で上下方向に均等に割り付けます。		
縦書きの場合 [上詰め]	文字をテキストボックス内で上詰めにします。			
	[中央配置]	文字をテキストボックス内で中央揃えに配置します。		
	[下詰め]	文字をテキストボックス内で下詰めにします。		
	[均等割付]	文字をテキストボックス内で均等に割り付けます。		
	[両端割付]	文字をテキストボックス内で両端に割り付けます。		
	[均等割付 (行)]	行をテキストボックス内で左右方向に均等に割り付けます。		

※テキストボックス最大化以外の各設定は【書式】メニューの【テキスト書式設定】や【シート書式設定】でも行えます。

4.画面のなまえとはたらき

■データ読み込みツールバー

別のアプリケーションで作成したデータファイルの読み込みをするツールが表示されています。



ボタン	機能	参照ページ
[読み込みファイル設定]	読み込みファイルの選択・設定をします。	104
[読み込みデータ編集]	読み込みデータの編集をします。	105
[流し込み枠]	読み込みファイルのテキストデータの流し込み枠を入力します。	106
[前データ]	読み込みデータの表示データを前へ移動します。	107
<input type="text" value="2"/> [表示データ名]	読み込みデータのデータタイトル名を表示します。	
[次データ]	読み込みデータの表示データを次へ移動します。	
[オーバーフローチェック]	読み込みデータのオーバーフローチェックをします。	109

※流し込み枠はメニューバー内のメニューからも選択できます。

■オブジェクト作成ツールバー

文字や線、図形を描くなど、入力に関する基本ツールが表示されています。

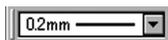


ボタン	機能	参照ページ
[選択]	オブジェクトを選択します。	65
[文字]	テキストボックスを作成します。	75
[直線]	直線を入力します。	76
[四角形]	四角形を入力します。	
[円]	円を入力します。	77
[連続直線]	連続直線を入力します。	
[自由曲線]	自由曲線を入力します。	78
[画像]	画像をインポートします。*BMP形式のファイルのみ。	83
[連番]	連番テキストボックスを作成します。(連続する数字やアルファベット、ひらがな、カタカナを一度に入力できます。)	85
[表作成]	表を作成します。	92

※各ツールはメニューバー内のメニューからも選択できます。

■線幅設定ツールバー

作成したオブジェクトの線幅を設定するためのツールが表示されています。



ボタン	機能	参照ページ
 [線幅]	線幅を設定します。(0.2mm~1.0mmまで選択できます。)	78

■オブジェクト配置ツールバー

テキストボックスや図形の配置、移動など、オブジェクト配置に関するツールが表示されています。



ボタン	機能	参照ページ
 [左右中央配置]	ラベルの左右中央にオブジェクトを配置します。	80
 [上下中央配置]	ラベルの上下中央にオブジェクトを配置します。	
 [上下左右中央配置]	ラベルの上下左右中央にオブジェクトを配置します。	
 [左端位置合せ]	選択した複数のオブジェクトを、基準オブジェクトの左端位置に配置します。	
 [右端位置合せ]	選択した複数のオブジェクトを、基準オブジェクトの右端位置に配置します。	
 [上端位置合せ]	選択した複数のオブジェクトを、基準オブジェクトの上端位置に配置します。	
 [下端位置合せ]	選択した複数のオブジェクトを、基準オブジェクトの下端位置に配置します。	
 [左右中央位置合せ]	選択した複数のオブジェクトを、基準オブジェクトの左右中央位置に配置します。	
 [上下中央位置合せ]	選択した複数のオブジェクトを、基準オブジェクトの上下中央位置に配置します。	66
 [選択オブジェクト切替え]	アクティブなオブジェクトおよび基準オブジェクトを切替えます。	
 [ロック/ロック解除]	オブジェクトのロック状態を切替えます。	

※各ボタンによる操作はメニューバー内のメニューからも行えます。

4.画面のなまえとはたらき

■ラベルツールバー

ラベルの新規作成、複製や削除、ラベルの移動など、ラベル入力に関するツールが表示されています。

ボタン	機能	参照ページ
 [新規ラベル作成]	新規にラベルを作成します。	50
 [ラベル複製]	選択しているラベルを複製します。	51
 [ラベル削除]	選択しているラベルを削除します。	
 [先頭ラベル]	先頭ラベルに移動します。	
 [前ラベル]	前のラベルに移動します。	
 [次ラベル]	次のラベルに移動します。	
 [最終ラベル]	最終ラベルに移動します。	28
 [ラベル管理画面の表示/非表示]	ラベル管理画面の表示/非表示を切替えます。	
 [編集画面切替え]	ラベル編集画面/テンプレート編集画面を切替えます。	89

※各ボタンによる操作はメニューバー内のメニューからも行えます。



MEMO

起動時に  をクリックして、ラベルを表示しない状態（背景がグレー色）でアプリケーションを起動した場合は、【ファイル】メニューから下記のいずれかを選択してください。

【新規シート作成】・【開く】・【データファイルの読み込み】・【本体ファイルのインポート/エクスポート】・【最近使ったファイル】・【アプリケーションの終了】



参照

- 新規シート作成…………… 44ページ
- ファイルの開きかた…………… 64ページ
- データファイルの読み込みかた…………… 101ページ
- 本体ファイルのインポート/エクスポート …… 114ページ
- 最近使ったファイル…………… 31ページ
- アプリケーションの終了…………… 27ページ

5.ラベルを作しましょう

対応ラベルについて

■TITLE BRAIN対応マークについて

シートの包装に、右図のような「TITLE BRAIN対応」マークが表示されているコクヨの既成ラベルを、ご使用いただけます。



■ラベルの材質について

対応ラベルには、「紙製ラベル」と水ぬれや汚れに強い「樹脂製ラベル」があります。

用途に合わせてお選びください。



ラベルの種類は同梱のラベルカタログに記載されています。

参 照

■特別なサイズのラベル・用紙

コクヨ既製ラベル以外のサイズのラベルや用紙を使って印字することもできます。



ご注意

紙質によって印字品質が変わることがありますので、必ず試し印字を行ってから使用してください。



MEMO

特別なサイズのラベルや用紙とは、既製ラベルのように1枚のシートに複数のラベルが付いているものではなく、1枚のラベルや用紙のことです。



参 照

自由用紙設定のしかた…………… 98ページ

5.ラベルを作りましょう

■包装やラベルに表示されている項目について

包装やラベルには「TITLE BRAIN対応」マーク以外にも操作上必要な項目が表示されています。

よくご確認の上、ご使用ください。



表示項目	①シート No.	②シート挿入方向	③インクリボンカセットの種類
表示の意味	ラベルの種類を表す固有の記号です。	印刷するとき、シートを本体に挿入する方向を示しています。	使用するラベルの材質によって、印字できるインクリボンの種類を示しています。
表示のしかた	アルファベット2文字で表示	矢印で挿入方向を表示	「紙用」または、「樹脂用」と表示
利用のしかた	文字を入力する前にシート No. を設定することにより、ラベルの種類、大きさに合わせて、文字を自動的に割り付けします。(44 ページ参照)	印刷するとき、シートを本体に矢印の方向に挿入してください。(59 ページ参照)	表示に合ったインクリボンカセットを本体にセットしてください。(同梱のタイトルブレン本体の取扱説明書を参照)
 ご注意	シート No. を間違えると、正しく印字できません。	挿入方向を間違えると、正しく印字できません。	カセットの種類を間違えると、印刷できません。

■ラベルの位置表示について

一つのシートに複数のラベルが付いているものは、それぞれのラベルの位置を、縦列のアルファベットと横列の数字の組み合わせで表示しています。

〈ラベルがたくさん付いている場合〉

	1	2	3	
↑ 挿入方向	A	A-1	A-2	A-3
	B	B-1	B-2	B-3
	C	C-1	C-2	C-3
	D	D-1	D-2	D-3
	E	E-1	E-2	E-3
	F	F-1	F-2	F-3
	G	G-1	G-2	G-3

〈ラベルが少ない場合〉

	1	
↑ 挿入方向	A	A-1
	B	B-1

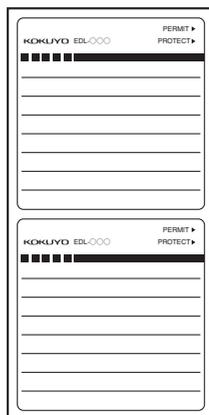


- 印字は、A-1、A-2、A-3、B-1、B-2、B-3……のように左上から右横へ順に行われます。
- ラベルの種類によっては、シートに縦列のアルファベットと横列の数字の表示がされているものとされていないものがあります。

〈表示されているラベル〉

	1	2
↑		
A		
B		
C		
D		
E		

〈表示されていないラベル〉



5.ラベルを作りましょう

作れるラベルの種類について

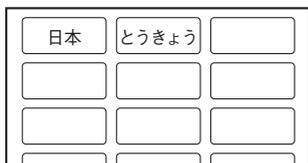
この商品では、いろいろな種類のラベルに印字することができます。
ラベルの種類を大きく分けると、以下の5種類に分けることができます。



個々の品番やシートNo.は同梱のラベルカタログを参照してください。

参照

■タックラベル

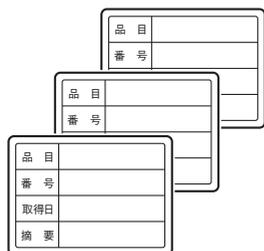


■インデックスラベル

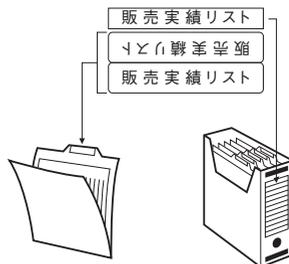


■ライン入りラベル

※ライン入りラベルとは備品ラベル・図書ラベルのことです。



■ボックスファイリングラベル



■フロッピーディスクラベル



ラベルの入力・編集のしかた

※インデックスラベル（シート No. : HV）で説明していますが、他のラベルも基本手順は同じです。



インデックスラベル タ-21B
シートNo. : HV

1 アプリケーションを起動してください。



アプリケーションの起動のしかた…………… 26ページ

参照

2 起動すると初期画面が表示されます。
[新規シート作成] をクリックしてください。



MEMO

別シート作成中やファイルを開いた状態、またはラベルを表示せずにアプリケーションを起動した状態で、【ファイル】メニューから【新規シート作成】を選択することもできます。

([新規シート作成] をクリックしても選択できます。)

3 シートNo.を半角の英大文字で入力し、[OK] をクリックしてください。

①入力する ②作るラベルのプレビューが表示される



③クリック

シートNo.は、半角の英大文字で入力してください。(全角文字・小文字は使用できません。)

ご注意



参照

●シートNo.とラベルの種類は、同梱のラベルカタログを参照してください。

●自由用紙設定でラベルを作る場合…………… 98ページ

5.ラベルを作しましょう



MEMO

- 同じシートNo.で異なるデザインがあるラベルは、「デザイン」を選択してから [OK] をクリックしてください。



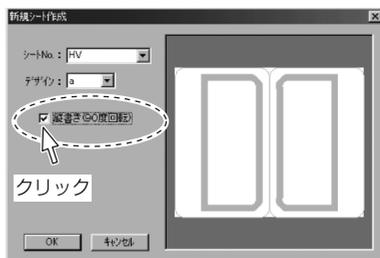
- ラベルを縦書きで作成する場合は、「縦書き (90度回転)」のチェックボックスをクリックしてから、[OK] をクリックしてください。



横書き



縦書き

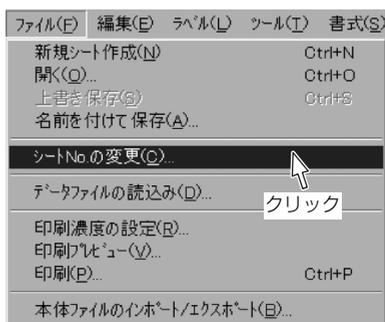


- シートNo.のプルダウン部分には、使用したシートNo.の履歴が10シートまで表示されますので、履歴からシートNo.を選択することができます。



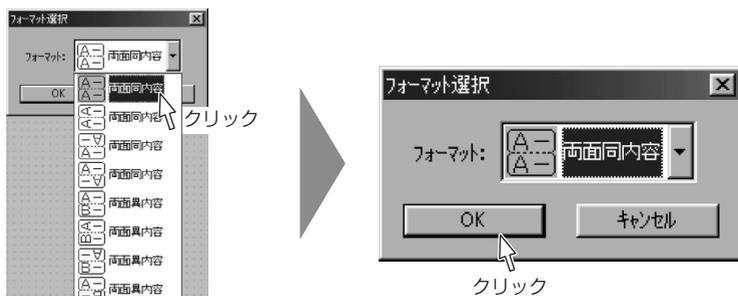
- シートNo.は、編集の途中でも変更することができます。下記の手順で行ってください。

1. 【ファイル】メニューから【シートNo.の変更】を選択してください。
2. 44ページ「3」の要領でシートNo.を入力し、[OK] をクリックしてください。
3. 入力したシートNo.に変更されます。必要に応じて入力されている文字や図の配置・大きさなどを調整してください。



4

フォーマットを選択し、[OK] をクリックしてください。
 (フォーマット選択があるのは、インデックスタイプのラベルのみ)



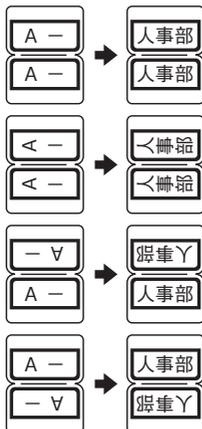
MEMO

- フォーマットは、編集の途中でも変更することができます。ラベル入力画面の中、または、ラベル管理画面のラベル上で右クリックし、【フォーマット選択】を選んで、変更してください。

- レイアウトパターンと印字結果例

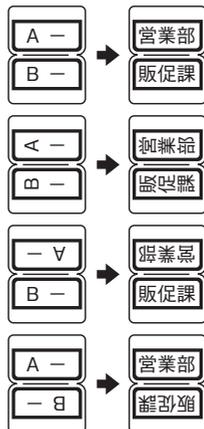
横書き
両面同内容の場合

印字結果例



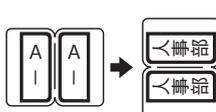
横書き
両面異内容の場合

印字結果例



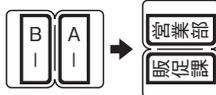
縦書き
両面同内容の場合

印字結果例



縦書き
両面異内容の場合

印字結果例



- 片面を空白にするときも、両面異内容で作ります。



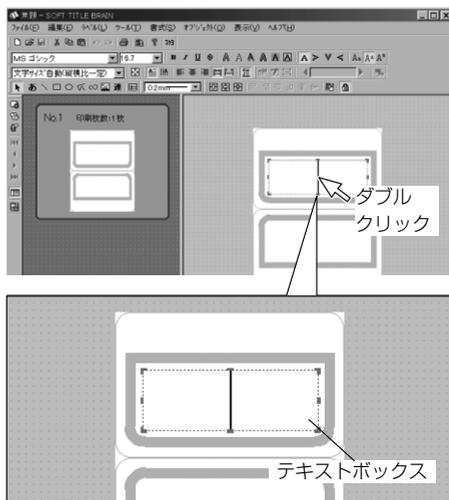
5. ラベルを作しましょう

5 [OK] をクリックすると、ラベル入力画面が表示されます。ラベル上にはあらかじめ有効印刷範囲内で最大サイズのテキストボックスが生成されていますので、ダブルクリックしてください。文字を入力できる状態になります。



MEMO

【文字ツール】を選択した後、マウスをドラッグすることで新しいテキストボックスを作成することができます。(75ページ参照)

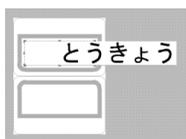


6 文字を入力して、テキストボックス以外の場所をクリックしてください。文字が確定し、ラベル入力画面で入力した文字が、ラベル管理画面にも反映されます。

② ラベル管理画面に反映される



〈例〉両面同内容の場合



一つ目のテキストボックスに入力



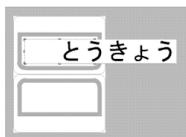
入力を確定



テキストボックス以外の場所をクリック

片面の入力内容が確定すると、もう一方の面に同じ文字が表示される

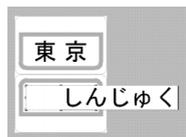
〈例〉両面異内容の場合



一つ目のテキストボックスに入力



入力を確定



二つ目のテキストボックスに入力



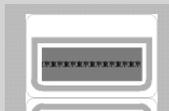
入力を確定

テキストボックス以外の場所をクリック



ご注意

- 入力した文字がテキストボックスにおさまらないときは、確定後にテキストボックスがピンク色に表示されます。テキストボックスからはみ出した部分は印刷されませんので、編集し直してください。
- ひとつのテキストボックスに入力できる文字数は、記号や改行などを含めて最大約500文字です。
- 画面表示によるドットの配置や構成などにより、文字や飾りなどが画面では正確に表示されない場合があります。また、表示上文字がラベルの印刷枠などの下に隠れる場合があります。



MEMO

- 基本設定では、文字数に応じて自動的に文字サイズおよび配置が調整されます。
- ラベルごとの入力できる文字数・行数は、フォントによって異なります。
- ラベルを縦書きで作成する場合も2桁数字を入力できます。
2桁の半角数字は、全角1文字にグループ化されます。
削除した場合は、グループ化された2桁数字が削除されます。



5.ラベルを作しましょう

7 入力した文字の書体変更や装飾、図形の入力や連番設定、表作成など、いろいろな機能を使ってラベルの編集をしたいときは、それぞれの説明を参照してください。



参照

- 文字の修飾……………67ページ
- 書式設定の変更のしかた……………73ページ
- オブジェクトの入力(テキストボックス・図形)と線幅の設定……………75ページ
- オブジェクトの配置について……………79ページ
- 画像のインポートのしかた……………83ページ
- 連番設定のしかた……………85ページ
- テンプレートの作りかた……………89ページ
- 表の作りかた……………92ページ
- データファイルの読みみかた……………101ページ
- 下記の機能については、「4.画面のなまえとはたらき」の31～34ページを参照してください。

切り取り・コピー・貼り付け・元に戻す・やり直し



MEMO

ラベル入力画面で右クリックしても下記のような入力・編集ができます。

●テキストボックス以外の場所で右クリックしたとき

選択ツール(オブジェクトを選択)・文字ツール(テキストボックスを入力)・直線ツール(直線を入力)・四角形ツール(四角形を入力)・円ツール(円を入力)・連続直線ツール(連続直線を入力)・自由曲線ツール(自由曲線を入力)・画像ツール(画像をインポート)・連番ツール(連番テキストボックスを入力)・表作成ツール(表を入力)・流し込み枠ツール(流し込み枠を入力)・個別印刷枚数(個別印刷枚数の設定)・フォーマット選択・テンプレートの編集

●テキストボックスを選択して右クリックしたとき

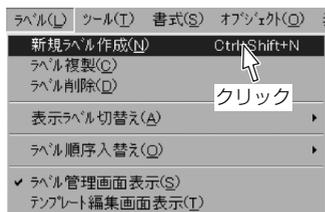
切り取り・コピー・削除・ロック(ロック解除)・書式設定・連番設定、データリンク設定・配置(上下中央・左右中央・上下左右中央)・重ね順序(最前面へ移動・前面へ移動・背面へ移動・最背面へ移動)・選択オブジェクト切替え

●テキストボックスに文字が入力できる状態で右クリックしたとき

切り取り・コピー・貼り付け・削除・すべて選択・書式設定

8

改ラベルをする場合は、【ラベル】メニューから【新規ラベル作成】を選択し、46ページ「4」「5」「6」「7」の要領で文字や図形を入力・編集してください。
 (🔗 [新規ラベル作成] をクリックしても同じ操作ができます。)



新規ラベルが表示

新規ラベルの入力画面で、
入力・編集する

改ラベルとは…

同じシートで複数の違ったタイトル文字のラベルを作りたいときは、新規ラベルを作成して入力します。この操作のことを「改ラベル」といいます。



5.ラベルを作りましょう



MEMO

- ラベル管理画面で目的のラベルをクリックすると、選んだラベルの入力画面が表示されます。

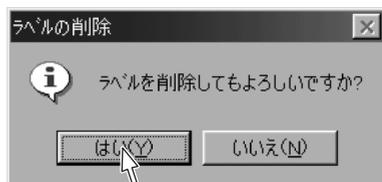
選んだラベルが
青枠で表示



クリック

選んだラベルの入力画面が表示

- 改ラベルで多枚数作成したり、ラベルに文字飾りなどを付けると、画面の切替えや描画が遅くなることがあります。その場合、ラベル管理画面を非表示にすると多少早くなる場合があります。(28ページ参照)
 - 表示ラベルを切替えたいときは、【ラベル】メニューから【表示ラベル切替え】▶【先頭ラベル】・【前ラベル】・【次ラベル】・【最終ラベル】のいずれかを選択してください。選んだラベルがラベル管理画面に青枠で表示され、そのラベルの入力画面が表示されます。(◀◀▶▶▶▶)【先頭ラベル】・【前ラベル】・【次ラベル】・【最終ラベル】をクリックしても同じ操作ができます。)
 - ラベルを複製したいときは、ラベルを選び、【ラベル】メニューから【ラベル複製】を選択してください。(📄)【ラベル複製】をクリックしても同じ操作ができます。)
 - ラベルを削除したいときは、ラベルを選び、【ラベル】メニューから【ラベル削除】を選択してください。(🗑️)【ラベル削除】をクリックしても同じ操作ができます。)
- 右図のような「ラベルの削除」画面が表示されますので、【はい】をクリックしてください。



クリック

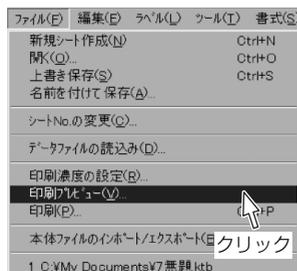
- ラベルの順序を入替えたいときは、ラベルを選び、【ラベル】メニューから【ラベル順序入替え】▶【上へ】または【下へ】を選択してください。
- ラベル管理画面のラベル上で右クリックしても、下記のような入力・編集ができます。

新規ラベル作成・ラベル複製・ラベル削除・ラベル順序入替え(上へ・下へ)・個別印刷枚数設定・フォーマット選択

9

入力編集内容を確認します。

【ファイル】メニューから【印刷プレビュー】を選択し、印刷レイアウトを確認してください。



〈シートが2枚以上のとき〉

[次シート] をクリックして、各シートの印刷レイアウトを確認してください。(前のシートに戻るには、[前シート] をクリックしてください。)



クリック



クリック



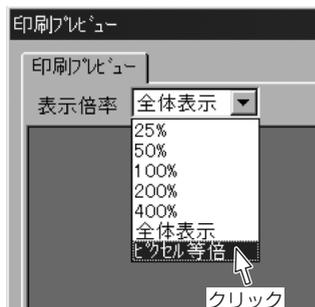
クリック

〈編集画面に戻るとき〉

[閉じる] をクリックしてください。



画面表示によるドットの配置や構成などにより、文字や飾りなどが画面では正確に表示されない場合があります。その場合は、ピクセル等倍を選択してください。また、表示上文字がラベルの印刷枠などの下に隠れる場合があります。



クリック



5.ラベルを作りましょう

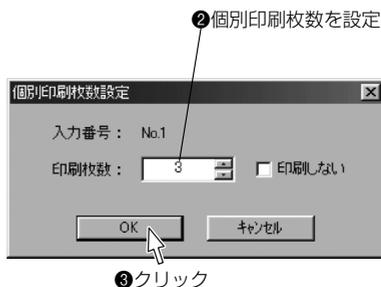


MEMO

改ラベルした各ラベルの印刷枚数を個別に設定したいときは、以下の手順で行ってください。



1. ラベル管理画面でラベルを選択してダブルクリックしてください。個別印刷枚数設定画面が表示されますので、▲▼ボタンまたは半角数字を直接入力して印刷枚数を設定し、[OK] をクリックしてください。(ラベルを選択し、ラベル管理画面のラベル上、または、ラベル入力画面のテキストボックス以外の場所で右クリックして【個別印刷枚数】を選択しても、個別印刷枚数設定画面が表示されます。)



2. ラベル管理画面に設定した個別印刷枚数が表示されます。



※印刷するときの「印刷枚数設定」は1枚に設定してください(55ページ参照)。複数枚に設定すると、印刷枚数は「個別印刷枚数」×「印刷枚数」になります。



MEMO

改ラベルした各ラベルの中で、印刷しないラベルを設定したいときは、以下の手順で行ってください。

1. ラベル管理画面でラベルを選択してダブルクリックしてください。個別印刷枚数設定画面が表示されますので、「印刷しない」のチェックボックスをクリックしてから、[OK] をクリックしてください。（ラベルを選択し、ラベル管理画面のラベル上、または、ラベル入力画面のテキストボックス以外の場所で右クリックして【個別印刷枚数】を選択しても、個別印刷枚数設定画面が表示されます。）



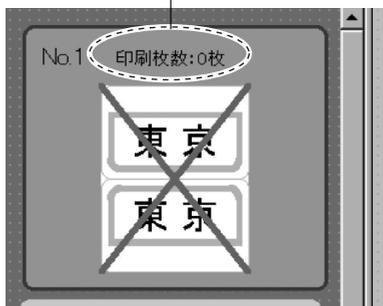
①ダブルクリック



③クリック

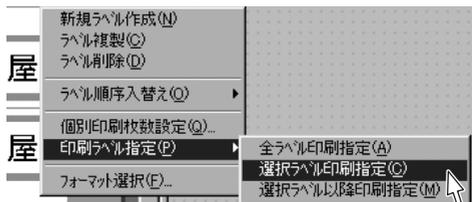
2. ラベル管理画面の印刷しないラベルに×が付き、印刷枚数が0枚と表示され、印刷されません。

印刷枚数が0枚と表示される



※選択したラベル、または選択したラベル以降を印刷する場合は、ラベル上で右クリックし、【印刷ラベル指定】▶【選択ラベル印刷指定】、または【選択ラベル以降印刷指定】をクリックしてください。

指定を解除する場合は、【印刷ラベル指定】▶【全ラベル印刷指定】をクリックしてください。



クリック

5.ラベルを作りましょう

ラベルの印刷のしかた

44～54ページの要領でラベルの入力・編集をした後、以下の手順で印刷してください。

1 タイトルブレーンとパソコンを接続し、タイトルブレーンの電源を入れてください。



.....
タイトルブレーンとパソコンの接続のしかた……23ページ
.....

参照



MEMO

●タイトルブレーン2は、画面に「PC接続中」と表示されます。



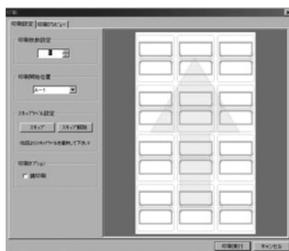
ご注意

印刷動作中および本体ファイルのインポート/エクスポート実行時以外は、本体の電源はオートパワーオフ機能によって5分で切れます。

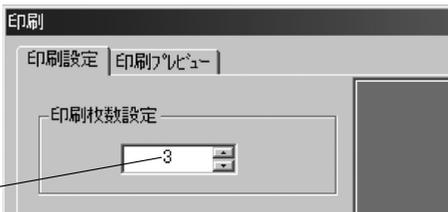
2 【ファイル】メニューから【印刷】を選択してください。「印刷」画面が表示されます。



クリック



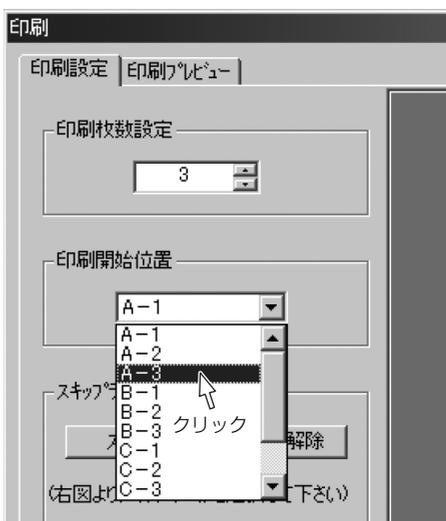
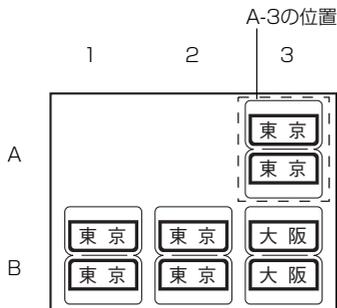
3 印刷するラベルの枚数を、▲▼ボタンまたは半角数字を直接入力して設定してください。



ラベルの枚数を設定

4

印刷開始位置を指定してください。下図のようにA-3の位置から印刷が開始されるように指定する場合は、【A-3】をクリックしてください。



ラベルの位置表示について…………… 42ページ

参照

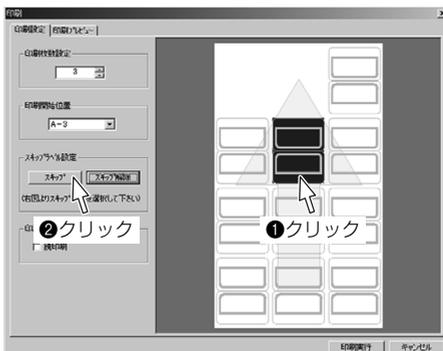
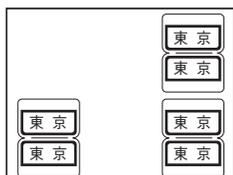


MEMO

- 新規で入力・編集した場合、「印刷開始位置」は【A-1】になっています。
- 印刷を開始したい位置のラベル上で右クリックし、【印刷開始位置】を選択しても指定できません。
- 自由用紙設定（98ページ参照）をした場合は、【A-1】のみの表示で「印刷開始位置」は指定できません。

5

下図のようにスキップ印刷（ラベルをとばして印刷）したいときは、とばして印刷したいラベルの場所を指定して [スキップ] をクリックしてください。



5 ラベルを作る

5.ラベルを作りましょう



MEMO

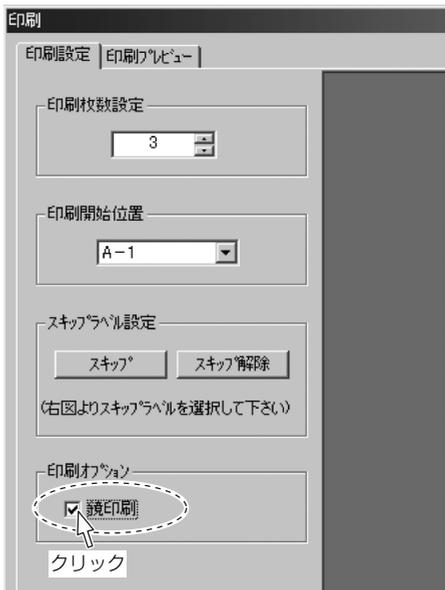
- 複数のスキップ位置を指定する場合は、Ctrl キーを押しながらクリックしてください。
- スキップを設定したラベルを元に戻したいときは、再度ラベルの場所を指定して「スキップ解除」をクリックしてください。



- 自由用紙設定 (98ページ参照) をした場合は、「スキップ印刷」は設定できません。

6 下図のように、透明なラベルに鏡文字を印刷したいときは、「鏡印刷」のチェックボックスをクリックしてください。

注意事項



7 [印刷プレビュー] をクリックして印刷レイアウトを確認してください。

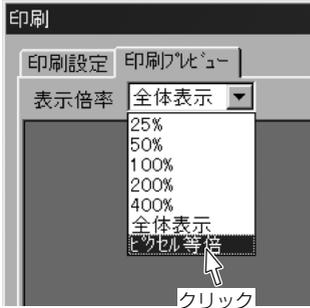
「4」「5」「6」での操作が画面で確認できます。

※右の画面は「4」「5」の操作を行った場合です。



ご注意

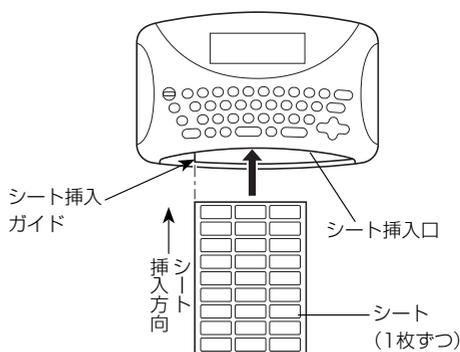
画面表示によるドットの配置や構成などにより、文字や飾りなどが画面では正確に表示されない場合があります。その場合は、ピクセル等倍を選択してください。また、表示上文字がラベルの印刷枠などの下に隠れる場合があります。



5.ラベルを作りましょう

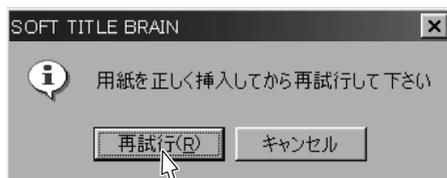
8

印刷するシートを、挿入方向を確認して、1枚ずつシート挿入ガイドに沿わせながらいっぱいまでまっすぐ挿入してください。



ご注意

- シートは1枚ずつ挿入してください。
- まっすぐ挿入しないと、印刷実行時にシートが手前に排出され、右の画面が表示されます。再度シートを挿入し直してから【再試行】をクリックしてください。
- シートに折り目があったり、丸まっている場合は、平らに伸ばしてから使用してください。特に左上の角が曲がっていると、挿入できないことがあります。
- はがれかけているラベルは、そのまま挿入しないでください。必ず取り除いてから使用してください。故障の原因になります。
- シート排出口の近くにものを置かないでください。用紙が排出されずに故障する原因になります。



クリック

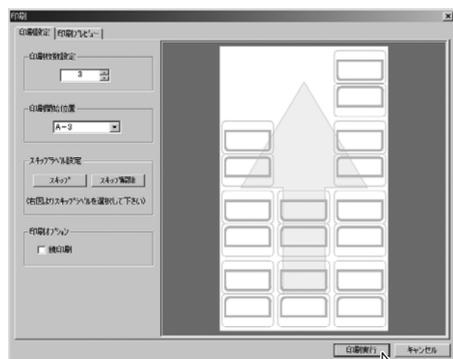


参照

シート挿入方向…………… 41ページ

9

「印刷実行」をクリックしてください。「印刷中…」画面が表示され、印刷が始まります。



クリック



〈印刷の中止のしかた〉

印刷を中止するときは、[印刷中止] をクリックしてください。印刷が中止され、シートは自動的に排出されます。



クリック



ご注意

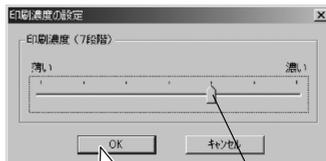
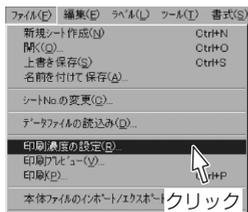
- 印刷を中止するときは、必ず[印刷中止]をクリックしてください。タイトルブレン本体の電源を切って印刷を止めないでください。(本体の電源を切って印刷を中止した場合、本体を認識しなくなることがあります。そのときは、アプリケーションを終了し、パソコンを再起動してください。)
- [印刷中止] をクリックしてもシートが自動的に排出されない場合は、絶対に引き抜かず、本体の電源を切ってUSBケーブルを外し、再度電源を入れてから62ページ〈シートの強制排出のしかた〉の要領で強制排出を行ってください。

5.ラベルを作しましょう



MEMO

印刷濃度を調整することができます。【ファイル】メニューから【印刷濃度の設定】を選択し、印刷濃度を選択してから印刷してください。



クリック 印刷濃度を選択



ご注意

印刷濃度を設定し直しても、使用するシートの材料や表面の状態によっては、印刷された文字がかすれたり、つぶれたりする場合があります。

10 印刷が完了すると、シートは自動的に排出されます。



- 印刷データ待ちの状態でもオートパワーオフによって本体の電源が切れると、印刷途中のデータは中断されます。再開するときは、電源を入れて55ページ「3」から再度印刷設定をやり直してください。
- 印刷中にシートが途中で止まっても、絶対に引き抜かないでください。いったん本体の電源を切り、再度電源を入れると、シートは自動的に排出されず。それでも排出されないときは、USBケーブルを外し、電源を入れてから下記の要領で強制排出を行ってください。

〈シートの強制排出のしかた〉

・ タイトルプレーン2の場合

機能 + **ON/OFF** を押してください。

- 上記の操作を行ってもシートが排出されない場合は、無理に引き抜かないでください。電源を切って、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 使用するシートの材質や表面の状態によって、印字された文字がかすれたり、つぶれたりする場合があります。
- 画数の多い文字などは、つぶれて印字されることがあります。
- 大きい文字やバックグラウンドなど、1回で印字できない場合は、2回、3回に分けて印字されるため、多少のズレやすき間、重なる部分が発生することがあります。

〈タイトルプレーンを乾電池でご使用の場合のご注意〉

- 乾電池を使用して印刷を行う場合、印刷性能を保つために、ACアダプタを使用しているときに比べて印刷に時間がかかります。
- 乾電池を使用して印刷を繰り返し行くと、乾電池が著しく消耗し、不経済です。専用のACアダプタで使用されることをお勧めします。
- 大きい文字や黒ベタが多い文字を印刷すると、乾電池が著しく消耗し、残量不足によって印刷途中でシートを自動的に排出することがあります。



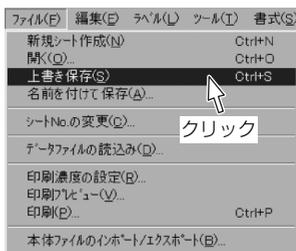
印刷が多枚数にわたる場合は、1シートの印刷が終了すると再度55ページ「2」の画面が表示されますので、必要に応じて印刷開始位置、スキップ位置、鏡印刷を設定してください。

5.ラベルを作りましょう

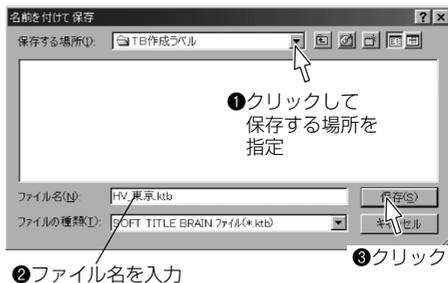
ラベルの保存のしかた

必要に応じて作成したラベルを保存します。

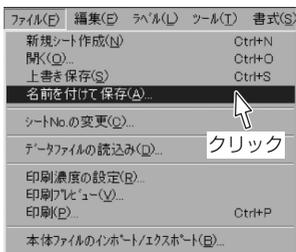
- 1 【ファイル】メニューから【上書き保存】を選択してください。
([保存] をクリックしても選択できます。)



- 2 保存する場所を指定し、ファイル名を入力して【保存】をクリックしてください。



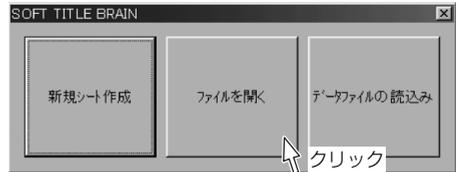
保存しているファイルを開いて入力・編集した後に別ファイルとして保存する場合は、【ファイル】メニューから【名前を付けて保存】を選択して、保存する場所を指定し、ファイル名を入力して【保存】をクリックしてください。



ファイルの開きかた

保存しているラベルのファイルを開いて、入力・編集や印刷をする場合は、下記の手順で行ってください。

- 1 【ファイルを開く】をクリックしてください。



MEMO

別シート作成中や、ラベルを表示せずにアプリケーションを起動した状態で、【ファイル】メニューから【開く】を選択することもできます。
(☑️【開く】をクリックしても選択できます。)

- 2 ファイルを指定し、[開く]をクリックしてください。指定できるのは、SOFT TITLE BRAIN ファイル (拡張子.ktb) のみです。



MEMO

ファイルを指定するときにダブルクリックしても開きます。

- 3 指定したファイルが表示されますので、入力・編集や印刷をしてください。



MEMO

アプリケーションを起動する前に、保存しているラベルのファイルを直接ダブルクリックしても開くことができます。



参照

- ラベルの入力・編集のしかた…………… 44ページ
- ラベルの印刷のしかた…………… 55ページ

6.入力・編集機能について

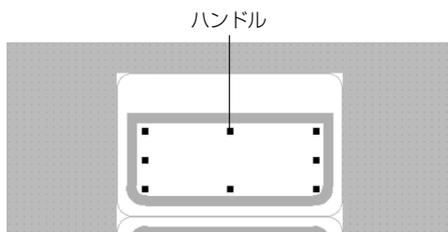
オブジェクトについて

■オブジェクトとは

テキストボックスや図形、画像などラベルに貼り付けられる全ての対象物のことを言います。

■オブジェクト選択

【ツール】メニューから【選択ツール】を選択し、テキストボックスや図形、画像などオブジェクトをクリックします。(クリックするとハンドルが右図のように黒色に反転します。)



MEMO

- 新規シートやラベル作成時などは、自動的に【選択ツール】が選択されています。
- 複数のオブジェクトを選択するときは、**[Shift]**キーを押しながら、各オブジェクトをクリックしてください。
- ラベル上にあらかじめ生成されているテキストボックスは、ロックされていますので、配置や重ね順序などを設定したいときはロックを解除してください。(81ページ参照)

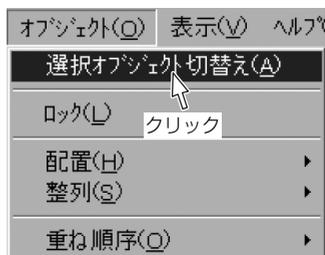
■基準オブジェクト

複数のオブジェクトの中で、整列するときに基準となるオブジェクトをさします。複数のオブジェクトを選択しているときに、基準オブジェクトはハンドルが青色で反転します。

■選択オブジェクト・基準オブジェクトの切替え

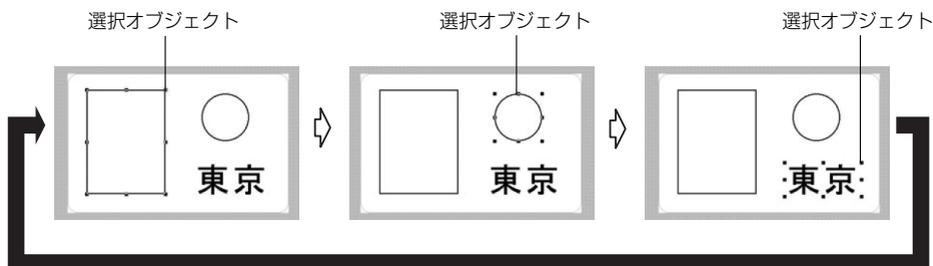
ラベルに複数のオブジェクトが入力されている場合、一つのオブジェクトを選択した後、選択オブジェクトを切替えることができます。また、複数のオブジェクトを選択した後、青色のハンドルで表示されている基準オブジェクトを切替えることができます。

【オブジェクト】メニューから【選択オブジェクト切替え】を選択して切替えてください。(☞【選択オブジェクト切替え】をクリックしても同じ操作ができます。)



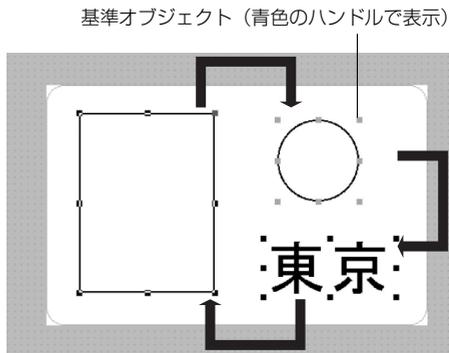
〈選択オブジェクトを切替える場合〉

単一のオブジェクトが選択されている場合、選択オブジェクトが順番に切替わります。



〈基準オブジェクトを切替える場合〉

複数のオブジェクトが選択されている場合、青色のハンドルで表示されている基準オブジェクトが順番に切替わります。

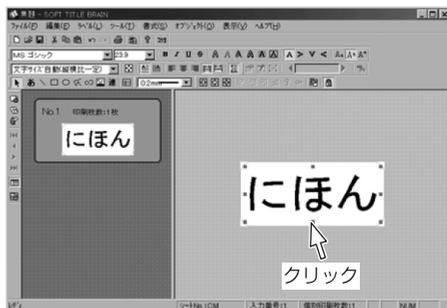


6.入力・編集機能について

文字の修飾

入力した文字は、フォント・文字サイズの変更や、文字飾り・文字配置などを設定することができます。

テキストボックスをクリックした後、以下の手順で行ってください。



MEMO

テキストボックス内のいくつかの文字だけを範囲選択して、設定することもできます。
(文字ツールバーの機能のみ)



■フォントの変更

MSゴシック [フォント] をクリックして、フォントを指定してください。



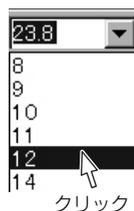
MEMO

パソコンに内蔵されているTrue Typeのフォントのみ指定できます。



■文字サイズの変更

18 [サイズ] をクリックして、文字サイズを指定してください。



MEMO

- 通常、入力した文字のサイズは文字サイズ自動調整機能によって、テキストボックスの大きさと文字数に合わせて自動的に調整されています。文字サイズを変更すると、文字サイズ調整モードが「文字サイズ指定」に変わります。
- 任意のサイズを設定するときは「自由設定」を選択し、文字サイズを入力してください。
- 文字サイズ調整モードを「文字サイズ自動（縦横比一定）」・「文字サイズ自動（縦横比自動）」にしている場合は、テキストボックスのサイズを拡大・縮小しても、文字サイズを変更できません。（ラベル上にあらかじめ生成されているテキストボックスは、ロックされていますので、拡大・縮小するときは81ページの要領でロックを解除してください。）

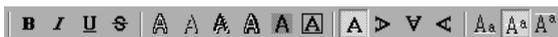


参照

文字サイズ調整モードの設定…………… 70ページ

■文字飾り・文字の回転・文字揃えの設定

文字ツールバーの各ボタンをクリックして、文字飾りや文字の回転・文字揃えを設定してください。



参照

文字ツールバーの機能について…………… 35ページ

6.入力・編集機能について



ご注意

- [白抜き] [影] [立体] [白抜き影] は同時に設定できません。
- 画数の多い文字の場合、文字飾りを設定して印字すると、文字のつぶれが発生することがあります。
- 文字飾りを設定することで、文字サイズ自動調整機能が働き、自動的に文字サイズが小さくなる場合があります。(70ページ参照)
- 文字飾りを設定することで、入力した文字がテキストボックスにおさまらなくなることがあります。
- [バックグラウンド] は、テキストボックス内の全ての文字を範囲選択して設定すると、テキストボックスにバックグラウンドが設定されます。
- [枠] は、テキストボックス内のいくつかの文字だけを範囲選択して設定しても、テキストボックスに枠が設定されます。

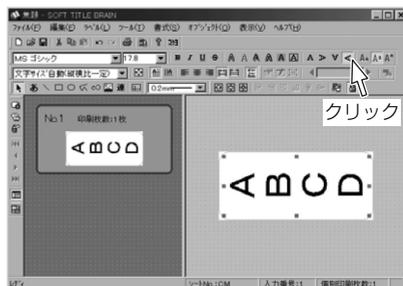
〈例〉斜体と白抜きを設定する場合

I [斜体] と **A** [白抜き] をクリックしてください。



〈例〉右に270度回転させる場合

A [回転270度] をクリックしてください。



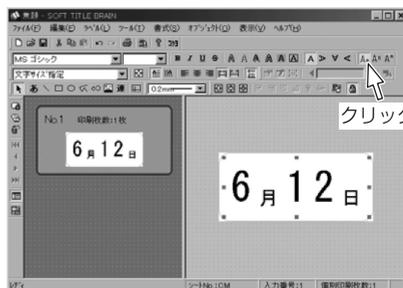
〈例〉大小サイズの文字が混在しているとき、行を下揃えに設定する場合

Aa [下付き] をクリックしてください。



MEMO

文字によっては、設定しても文字構成上、揃わないことがあります。



■文字サイズ調整モードの設定

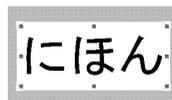
文字サイズの調整モードを設定できます。

「文字サイズ自動(縦横比一定)」 [文字サイズ調整モード] をクリックして、文字サイズの調整モードを選択してください。



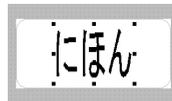
●【文字サイズ自動 (縦横比一定)】

テキストボックスのサイズに合わせて、文字サイズを自動的に最大サイズに調整します。



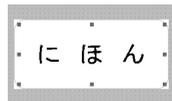
●【文字サイズ自動 (縦横比自動)】

テキストボックスのサイズに合わせて、文字の縦横比を自動的に調整します。



●【文字サイズ指定】

文字サイズを自動的に調整しません。指定された文字サイズで入力されます。(68ページ参照)

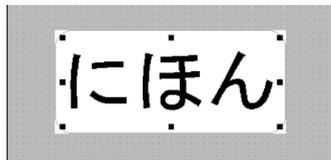
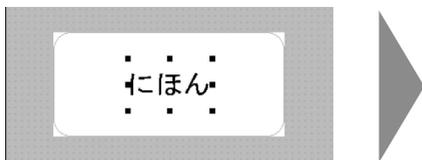
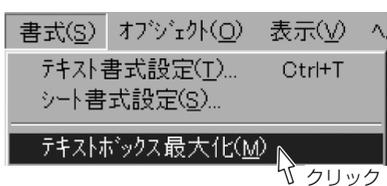


■テキストボックス最大化の設定

テキストボックスを有効印刷範囲の中で最大サイズに設定することができます。

【書式】メニューから【テキストボックス最大化】を選択し、設定してください。

( [テキストボックス最大化] をクリックしても同じ操作ができます。)



【文字サイズ指定】に設定している場合は、テキストボックスだけが最大サイズに設定され、文字サイズは変わりません。

6.入力・編集機能について

■縦書き・横書き・文字の配置の設定

テキスト配置ツールバーの各ボタンをクリックして、縦書き・横書きや文字の配置を設定してください。



ご注意

文字の配置は、文字サイズ調整モードを【文字サイズ自動（縦横比自動）】にしている場合は、設定できません。（70ページ参照）



MEMO

- ラベルを縦書きで作成するには、シートNo.を選択するときに「縦書き（90度回転）」にチェックしてください。（45ページ参照）
- 通常、入力した文字は文字間や行間も均等になるように、ラベルの中央に自動的に均等割付されています。

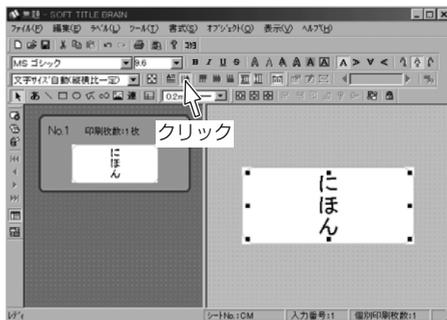


参照

テキスト配置ツールバーの機能について…… 36ページ

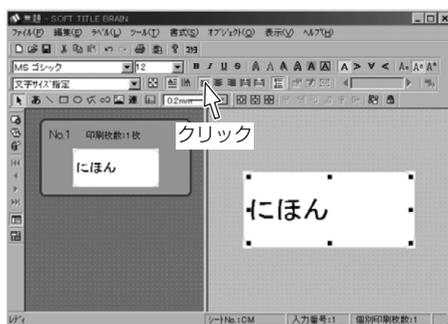
〈例〉テキストボックス内の横書きの文字を縦書きに設定する場合

 【縦書き】をクリックしてください。



〈例〉テキストボックス内の文字を左詰めに設定する場合

☰ [左詰め] をクリックしてください。



6.入力・編集機能について

書式設定の変更のしかた

■2つの書式設定について

〈シート書式設定〉

各シートにはあらかじめ決められた書式が設定されています。この設定に基づいて新規ラベル・新規シートが作成されたときの書式が決まります。

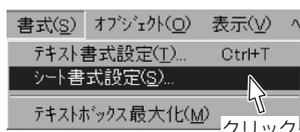
シート書式設定を変更することで、新規ラベル・新規シート作成時など、それ以降に作成される全てのテキストボックスの書式を変えることができます。

〈テキスト書式設定〉

ラベル内の個々のテキストボックスに設定された書式を変更することができます。

■シート書式設定の変更

- 1 【書式】メニューから【シート書式設定】を選択してください。



- 2 「シート書式設定」画面が表示されます。
各ボタンをクリックして書式設定を編集し、[OK] をクリックしてください。

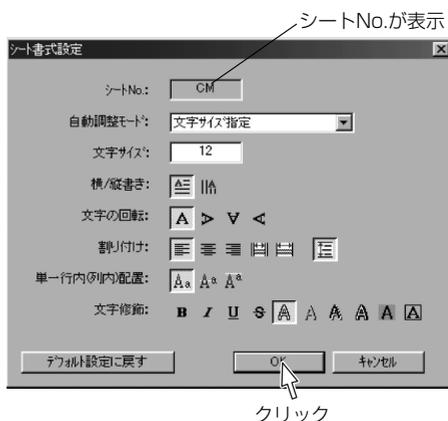


MEMO

編集した書式設定は、次に同じシートNo.で新規シートを作成するときも変更されたままになります。デフォルト設定に戻りたいときは、[デフォルト設定に戻す] をクリックしてください。

デフォルト設定に戻す

クリック



クリック



参照

書式設定の各ボタンの機能について、詳しくは35・36ページを参照してください。

■テキスト書式設定の変更

- 1 書式を変更したいテキストボックスを選択してください。

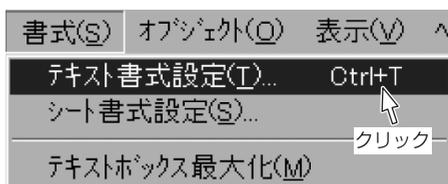


- 2 【書式】メニューから【テキスト書式設定】を選択してください。



MEMO

ラベル入力画面で、テキストボックスを選択した状態、または、文字が入力できる状態で右クリックしても選択できます。



- 3 「テキスト書式設定」画面が表示されます。
各ボタンをクリックして書式設定を編集し、[OK] をクリックしてください。



MEMO

編集した書式設定は、次に同じシートNo.で新規シートを作成するときには、適用されません。



クリック



参照

書式設定の各ボタンの機能について、詳しくは35・36ページを参照してください。



ご注意

「テキスト書式設定」画面では、選択したテキストボックスの現在の設定内容は表示されません。

6.入力・編集機能について

オブジェクトの入力 (テキストボックス・図形) と線幅の設定

テキストボックス・直線・四角形・円・連続直線・自由曲線を入力することができます。また、入力した図形の線幅を設定することができます。

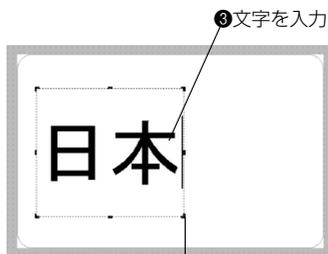


MEMO

ラベル入力画面のテキストボックス以外の場所で右クリックしても、選択ツール・文字ツール・四角形ツール・円ツール・連続直線ツール・自由曲線ツールの選択ができます。

■テキストボックスの作成

【ツール】メニューから【文字ツール】を選択し、ラベル上でドラッグしてテキストボックスを作成した後、文字を入力してください。(あ [文字] をクリックしても選択できます。)



②ドラッグしてテキストボックスを作成

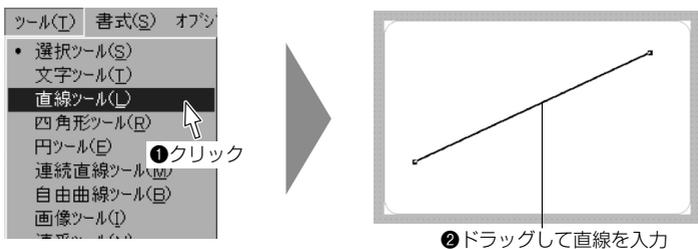


参照

文字の入力…………… 47ページ

■直線の入力

【ツール】メニューから【直線ツール】を選択し、ラベル上でドラッグして直線を入力してください。( [直線] をクリックしても選択できます。)

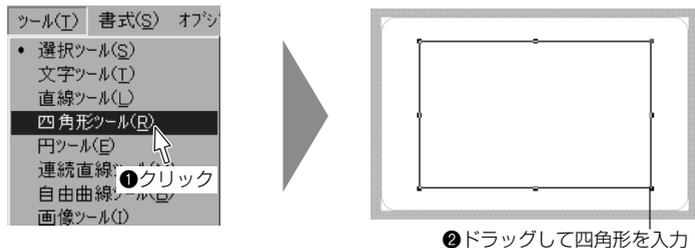


MEMO

[Shift] キーを押しながらドラッグすると、水平・垂直の線が入力できます。

■四角形の入力

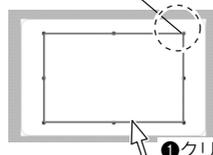
【ツール】メニューから【四角形ツール】を選択し、ラベル上でドラッグして四角形を入力してください。( [四角形] をクリックしても選択できます。)



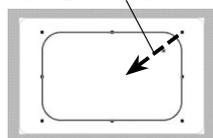
MEMO

- **[Shift]** キーを押しながらドラッグすると、正方形が描けます。
- 入力した四角形の角に丸みを付けることができます。四角形を選択し、四角形の右上にあるピンク色のハンドルにカーソルを合わせて、四角形の中心に向けてドラッグしてください。

② ピンク色のハンドルにカーソルを合わせる



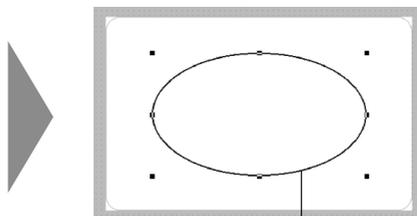
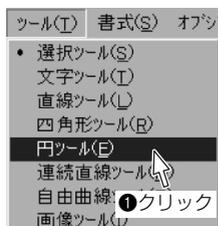
③ 中心に向けてドラッグ



6.入力・編集機能について

■円の入力

【ツール】メニューから【円ツール】を選択し、ラベル上でドラッグして円を入力してください。(○ [円] をクリックしても選択できます。)



②ドラッグして円を入力

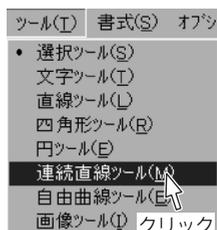


MEMO

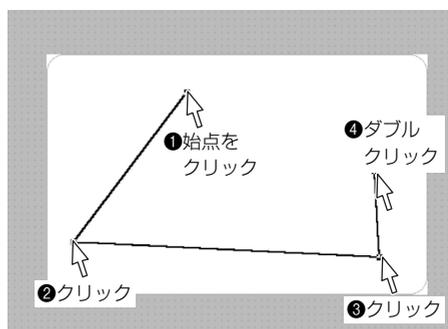
[Shift] キーを押しながらドラッグすると、正円が描けます。

■連続直線の入力

1 【ツール】メニューから【連続直線ツール】を選択し、ラベル上で直線の始点をクリックしてください。(☑ [連続直線] をクリックしても選択できます。)

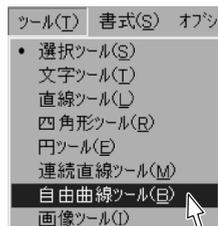


2 ラベル上で次の点をクリックするのを繰り返して連続直線を入力し、終点でダブルクリックしてください。



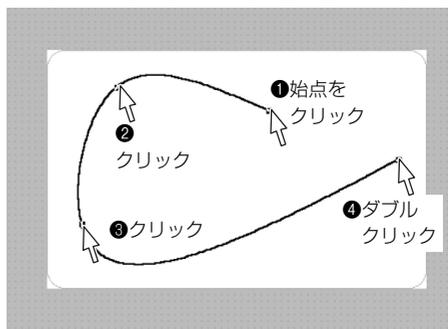
■自由曲線の入力

- 1 【ツール】メニューから【自由曲線ツール】を選択し、ラベル上で曲線の始点をクリックしてください。(☞[自由曲線]をクリックしても選択できます。)



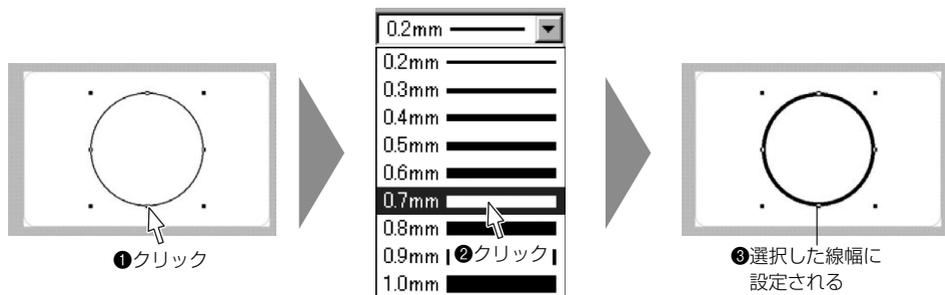
クリック

- 2 ラベル上で次の点をクリックするのを繰り返して自由曲線を入力し、終点でダブルクリックしてください。



■線幅の設定

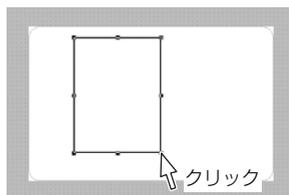
入力した図形を選択し、 [線幅] をクリックして設定してください。



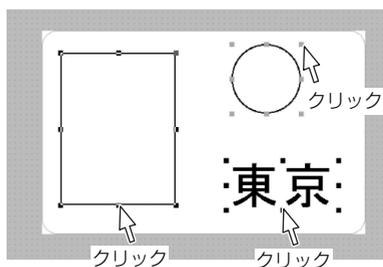
6.入力・編集機能について

オブジェクトの配置について

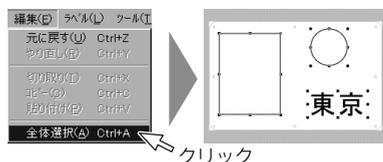
オブジェクトは、配置や重ね順序などを設定することができます。また、オブジェクトのロック状態を切替えることができます。オブジェクトを選択した後、以下の手順で行ってください。



- 複数のオブジェクトを選択するときは、**[Shift]**キーを押しながら各オブジェクトをクリックしてください。複数のオブジェクトの中で、基準となるオブジェクトのハンドルが青色で表示されます。(基準オブジェクトは切替えることができます。66ページを参照してください。)



- ラベル上のすべてのオブジェクトを選択するときは、**【編集】**メニューから**【全体選択】**をクリックしてください。



- ラベル上にあらかじめ生成されているテキストボックスは、ロックされていますので、配置や重ね順序などを設定したいときは、ロックを解除してください。(81ページ参照)
- ラベル入力画面で右クリックしても下記のような編集ができます。

・一つのオブジェクトを選択して右クリックしたとき

切り取り・コピー・削除・ロック/ロック解除・書式設定*・連番設定*・データリンク設定*・配置(上下中央/左右中央/上下左右中央)・重ね順序(最前面へ移動/前面へ移動/背面へ移動/最背面へ移動) 選択オブジェクト切替え
*は、テキストボックス選択時に表示されます。

・複数のオブジェクトを選択して右クリックしたとき

切り取り・コピー・削除・ロック(全てロック/全てロック解除)・配置(上下中央/左右中央/上下左右中央)・整列(左端/右端/上端/下端/左右中央/上下中央)・選択オブジェクト切替え



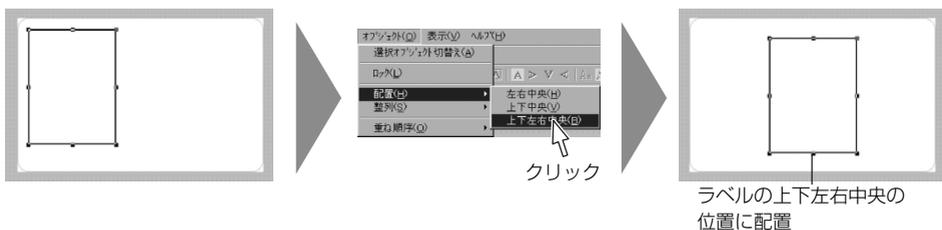
- オブジェクトの入力(テキストボックス・図形)と線幅の設定…… 75ページ
- オブジェクトメニューの機能について…… 33ページ
- オブジェクト配置ツールバーの機能について…… 38ページ

■左右中央・上下中央・上下左右中央配置

選択したオブジェクトの配置を、ラベルの左右中央・上下中央・上下左右中央に設定することができます。

【オブジェクト】メニューから【配置】▶【左右中央】・【上下中央】・【上下左右中央】のいずれかを選択してください。(☒ [左右中央配置]・☒ [上下中央配置]・☒ [上下左右中央配置] のいずれかをクリックしても同じ操作ができます。)

〈例〉上下左右中央に配置する場合



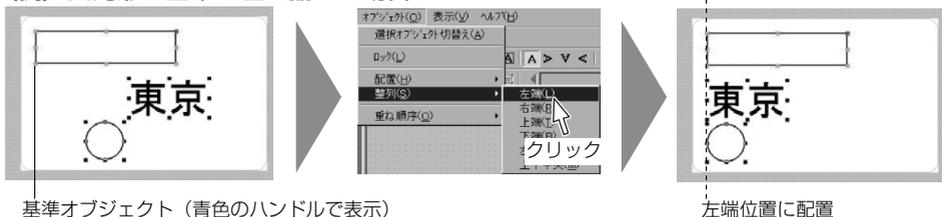
■オブジェクトの整列

複数のオブジェクト選択した場合、基準オブジェクト（青色のハンドルで表示されているオブジェクト）を基準にオブジェクトの位置を揃えることができます。

【オブジェクト】メニューから【整列】▶【左端】・【右端】・【上端】・【下端】・【左右中央】・【上下中央】のいずれかを選択してください。

(☒ [左端位置合せ]・☒ [右端位置合せ]・☒ [上端位置合せ]・☒ [下端位置合せ]・☒ [左右中央位置合せ]・☒ [上下中央位置合せ] のいずれかをクリックしても同じ操作ができます。)

〈例〉四角形を基準に左に揃える場合



6.入力・編集機能について

■オブジェクトの移動（重ね順序）

オブジェクトが重なった場合、選択したオブジェクトを最前面・前面・背面・最背面へ移動することができます。

【オブジェクト】メニューから【重ね順序】▶【最前面へ移動】・【前面へ移動】・【背面へ移動】・【最背面へ移動】のいずれかを選択してください。

〈例〉画像をテキストボックスの背面へ移動する場合



画像のインポートのしかた…………… 83ページ

参照

■オブジェクトのロック／ロック解除

テキストボックスや図形などのオブジェクトは、ロック状態を切替えることができます。オブジェクトをロックすると、オブジェクトの配置や位置揃え、移動ができなくなります。誤って位置などを変更したくないオブジェクトは、ロックしておくとう便利です。



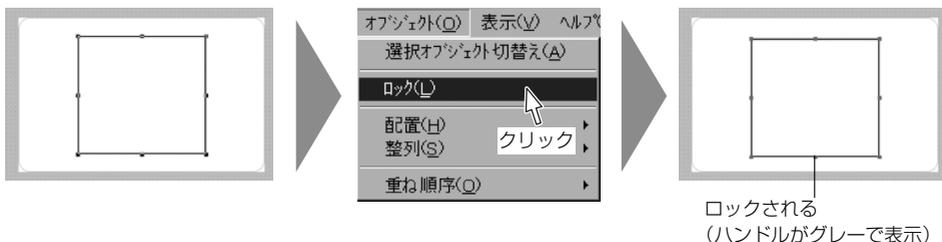
MEMO

- オブジェクトをロックしても、テキストボックスの文字入力や、図形の線幅設定をすることができます。
- ラベル上にあらかじめ生成されているテキストボックスは、ロックされていますので、配置や重ね順序などを設定したいときは、ロックを解除してください。
- ロック中のオブジェクトを選択すると、ハンドルがグレーで表示されます。

〈ロックのしかた〉

【オブジェクト】メニューから【ロック】を選択してください。オブジェクトがロックされ、ハンドルがグレーで表示されます。

( [ロック/ロック解除] をクリックしても同じ操作ができます。)



〈ロック解除のしかた〉

【オブジェクト】メニューから【ロック】を選択してください。オブジェクトのロックが解除されます。

( [ロック/ロック解除] をクリックしても同じ操作ができます。)



MEMO

複数のオブジェクトを選択しても、同じ操作が行えます。

6.入力・編集機能について

画像のインポートのしかた

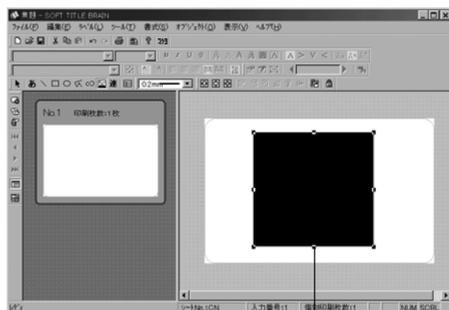
画像（BMP形式のファイル）をインポートしてラベルを作ることができます。



ご注意

BMP形式のファイル以外は、画像データをインポートすることができません。

- 1 【ツール】メニューから【画像ツール】を選択し、ラベル上でドラッグして画像のインポート枠を入力してください。
( [画像] をクリックしても選択できます。)



- 2 「画像ファイルを開く」画面が表示されます。インポートするファイルを指定し、[開く]をクリックしてください。



MEMO

インポートするファイルをダブルクリックしても開きます。



- 3** 「2値化」画面が表示されます。画像を確認しながら、しきい値を調整し、[OK] をクリックしてください。



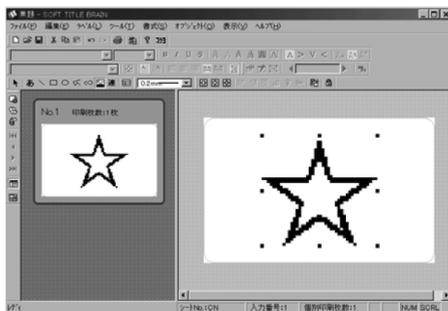
MEMO

インポートした画像は、白黒(2値)画像に変換されます。しきい値は白と黒を認識する境目です。しきい値を変更することで、白色・黒色に置き換える境目を調整することができます。



②クリック ①しきい値を調整

- 4** 画像がインポートされます。必要に応じて、画像のサイズや位置を変更してください。



MEMO

- 画像は、インポート枠の短辺を基準に元画像の縦横比を維持したまま拡大・縮小されます。
- インポート枠を変形させると、画像の縦横比を変更できます。
縦横比を元に戻す場合は、[Shift]キーを押しながらインポート枠をドラッグしてください。
- ラベル入力画面で何も選択せずに右クリックしても、画像ツールが選択できます。



参照

画像の配置などについて、詳しくは79～82ページを参照してください。

7. その他の機能について

連番設定のしかた

連続する数字、アルファベット小文字・大文字、ひらがな、カタカナが入った文字を、一度に入力することができます。



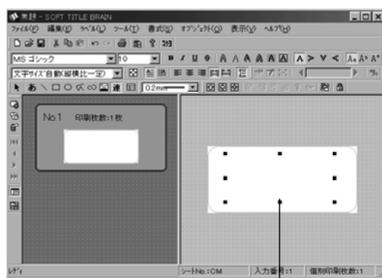
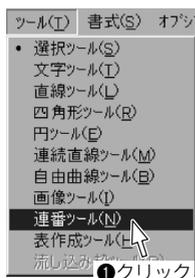
ご注意

ひらがな、カタカナの濁音・半濁音・小文字は入力できません。

第1回	第2回	第3回
第4回	第5回	第6回
第7回	第8回	第9回
第10回	第11回	第12回

1 【ツール】メニューから【連番ツール】を選択し、ラベル上でドラッグして連番テキストボックスを入力してください。

(連 [連番] をクリックしても選択できます。)



MEMO

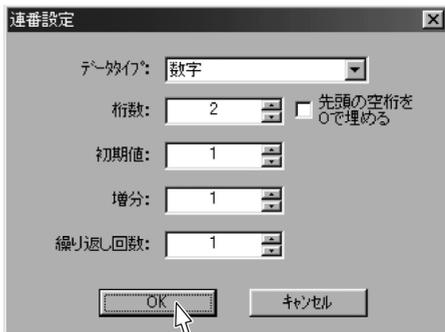
ラベル入力画面でオブジェクトを選択せずに右クリックしても、連番ツールが選択できます。

2 「連番設定」画面が表示されます。連番の設定をし、[OK] をクリックしてください。



MEMO

「先頭の空桁を0で埋める」にチェックを入れると、印刷したときに桁数に応じて連番数字の頭に「0」が入ります。右図の画面の設定にすると、「01」と印刷されます。





MEMO

下記の表を参考に、連番の設定を行ってください。

データタイプ	数字	アルファベット小文字・大文字	ひらがな・カタカナ
桁数	連番の最大数字の桁数を▲▼ボタンで選択するか、または、1～10までの半角数字を入力してください。(最大10桁まで設定できます。)※例えば1～100までの数字を入力する場合、最大数字「100」の桁数「3」を選択(入力)してください。	—	—
初期値	連番を開始する最初の数字を▲▼ボタンで選択するか、または、半角数字で入力してください。(0以上の整数を入力できます。)	連番を開始する最初のアルファベット小文字(大文字)を、▲▼ボタンで選択してください。※直接入力できません。	連番を開始する最初のひらがな(カタカナ)を、▲▼ボタンで選択してください。※直接入力できません。
増分	初期値に加える増分を▲▼ボタンで選択するか、または、半角数字で入力してください。(1～1000までの整数を入力できます。)	初期値に加える増分を▲▼ボタンで選択するか、または、半角数字で入力してください。(1～1000までの整数を入力できます。)	初期値に加える増分を▲▼ボタンで選択するか、または、半角数字で入力してください。(1～1000までの整数を入力できます。)
繰り返し回数	何回繰り返して連番設定するか(ラベルの枚数)を▲▼ボタンで選択するか、または半角数字で入力してください。(1～1000までの整数を入力できます。)		
例	桁数:2、初期値:0、増分:5、 繰り返し回数:12の場合 初期値 増分 (初期値+5) 	初期値:A、増分:1、 繰り返し回数:12の場合 初期値 増分 (初期値+1) 	初期値:i、増分:1、 繰り返し回数:12の場合 初期値 増分 (初期値+1)

7.その他の機能について

- 3** ラベル入力画面の連番テキストボックスに連番設定された文字が入力され、赤で「連」の文字、または、設定した連番の「初期値」が表示されます。
- また、ラベル管理画面に赤で **連番** が表示されます。



MEMO

- 入力した連番を変更する場合は、連番テキストボックスを選択した状態、または、連番テキストボックスに文字入力できる状態で右クリックし、【連番設定】を選んで再度設定してください。
- ラベル管理画面に表示されるのは、連番設定した初期値のみです。どのように連番設定されているのかを確認したいときは、【ファイル】メニューから【印刷プレビュー】を選択して確認してください。(52ページ参照)



〈文字入力できる状態〉



「連」が表示

〈テキストボックスを選択した状態〉



「初期値」が表示

4

必要に応じて連番以外の文字を入力・編集してください。連番以外の文字は、黒で表示されます。



- 文字の入力…………… 47ページ
- 文字の修飾…………… 67ページ

参 照



5

必要に応じて連番テキストボックスのサイズや位置を変更してください。



- オブジェクトの配置について…………… 79ページ

参 照

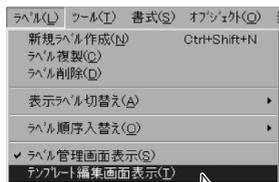
7.その他の機能について

テンプレートの作りかた

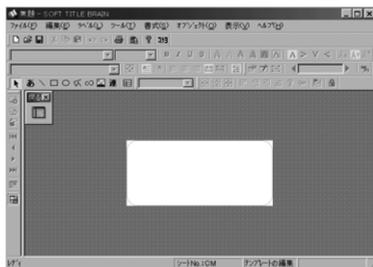
テンプレートを作って改ラベルをすると、すべてのラベルに同じ表記内容を入れることができます。決まった書式のラベル作りなどに便利です。

1 【ラベル】メニューから【テンプレート編集画面表示】を選択して、テンプレート編集画面に切替えてください。

( 「編集画面切替え」をクリックしても切替えられます。)



クリック



MEMO

ラベル入力画面でオブジェクトを選択せずに右クリックして、【テンプレートの編集】を選択しても切替えられます。

2 テンプレートとして使用したい文字や図形などを入力・編集してください。



参照

- 文字の入力…………… 47ページ
- 文字の修飾…………… 67ページ



文字や図形などを入力・編集する



MEMO

テンプレート編集画面で連番を設定すると、改ラベルでラベルを追加するたびに初期値から増分で設定した数字の分だけ緑上がった数字（文字）が表示されます。



MEMO

テンプレート編集画面でオブジェクトを何も選択せずに右クリックしても、下記の入力・編集ができます。

選択ツール(オブジェクトを選択)・文字ツール(テキストボックスを作成)・直線ツール(直線を入力)・四角形ツール(四角形を入力)・円ツール(円を入力)・連続直線ツール(連続直線を入力)・自由曲線ツール(自由曲線を入力)・画像ツール(画像をインポート)・表作成ツール(表を入力)

3

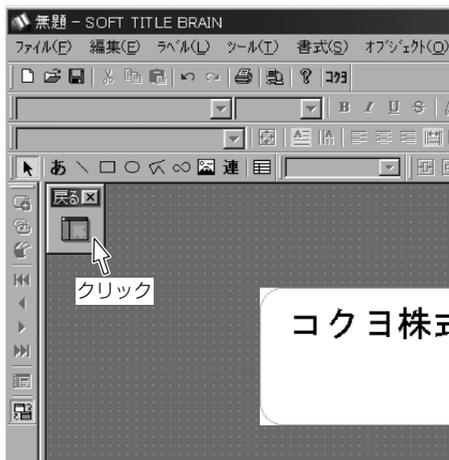
入力・編集後、[戻る]をクリックしてください。ラベル編集画面に戻ります。

( [編集画面切替え] をクリックしても戻ります。)



MEMO

【ラベル】メニューから【テンプレート編集画面表示】を選択するか、または、テンプレート編集画面でオブジェクトを選択せずに右クリックして【ラベル編集画面に戻る】を選択しても、戻ります。



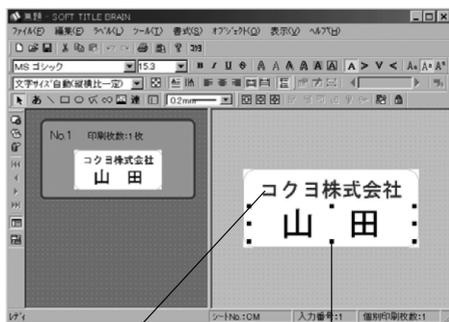
4

ラベル編集画面にテンプレートの内容が青色で表示されています。ラベル入力画面でその他の文字や図形などを入力・編集してください。



ご注意

テンプレートの内容は、ラベル入力画面で変更することはできません。変更するときは、再度テンプレート編集画面に切替えてください。



テンプレートの内容が青色で表示

文字や図形などを
入力・編集する

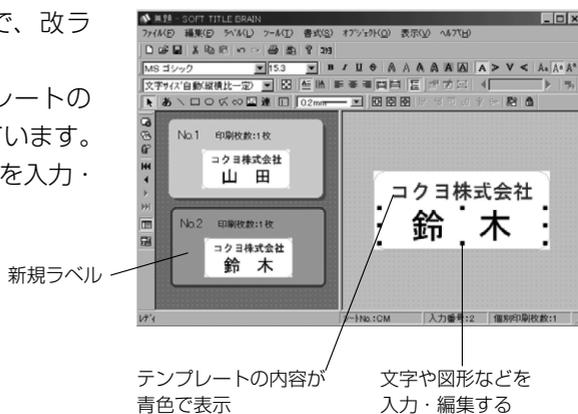


参照

- 文字の入力..... 47ページ
- 文字の修飾..... 67ページ
- オブジェクトの入力(テキストボックス・図形)と線幅の設定..... 75ページ
- オブジェクトの配置について..... 79ページ

7.その他の機能について

5 50ページ「8」の要領で、改ラベルを行ってください。
新規ラベルにもテンプレートの内容が青色で表示されています。
引き続き文字や図形などを入力・編集してください。



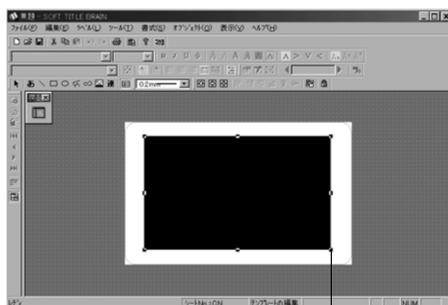
表の作りかた

表作成機能によって、フォーマットのないラベルでも備品表のようなライン入りのラベルを作ることができます。表はテンプレートで作成されますので、一つ表を作って改ラベルをすると、すべてのラベルに同じ表を入れることができ便利です。

OA備品管理表	
品目	パソコン本体
管理番号	03-0254
リース期限	06-15

1 【ツール】メニューから【表作成ツール】を選択してください。テンプレート編集画面が表示されますので、ラベル上でドラッグして表作成枠を入力してください。

(☰ [表作成] をクリックしても選択できます。)



MEMO

ラベル入力画面でオブジェクトを選択せずに右クリックしても、【表作成ツール】が選択できます。

7.その他の機能について

2 「表作成」画面が表示されます。表の「行数」・「列数」を▲▼ボタンで選択し、「表の種類」を選んで、[OK] をクリックしてください。



3 クリック



ご注意

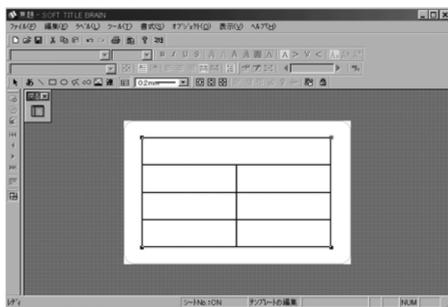
- 表の行または列のタイトルは、「行数」・「列数」に含まれません。
- 設定できる「行数」・「列数」は、ラベルの種類や表の大きさによって異なります。「行数」・「列数」を▲▼ボタンで選択せずに直接入力すると、設定できないことがあります。



MEMO

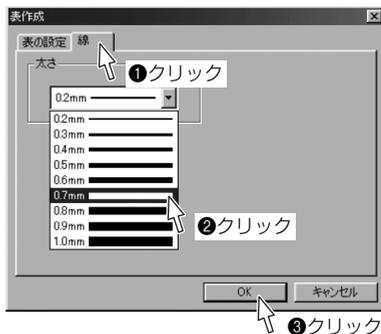
表の種類は、左から [タイトルなし]・[タイトル上端]・[タイトル下端]・[タイトル左端]・[タイトル右端] の表です。

3 テンプレート編集画面に設定した表が入力されます。

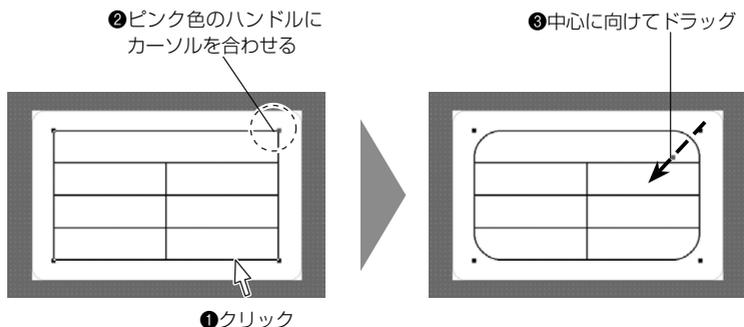


MEMO

- 表の設定を変更するときは、表全体を選択してダブルクリックしてください。「2」の「表作成」画面が表示されますので、再度設定してください。
- 表の線の太さを変更するときは、上記の要領で「表作成」画面を表示させた後、「線」タブをクリックして表の線の太さを選択し、「OK」をクリックしてください。



- 入力した表の角に丸みを付けることができます。表全体を選択し、表の右上にあるピンク色のハンドルにカーソルを合わせて、表の中心に向けてドラッグしてください。

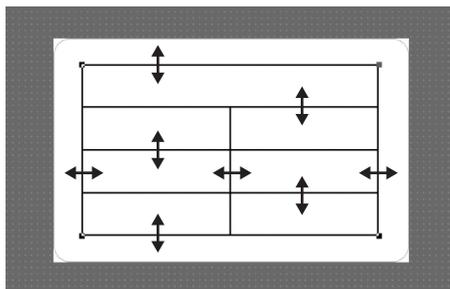


7.その他の機能について

4 必要に応じて、表の列幅・行の高さの変更、文字入力や、配置の調整などを行ってください。

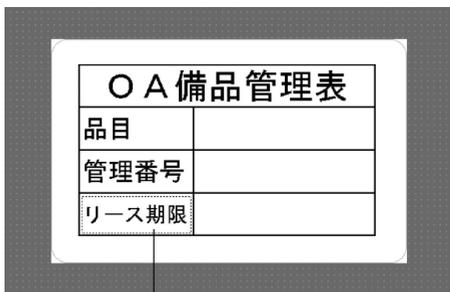
〈表の列幅・行の高さを変更する場合〉

表の列幅・行の高さは変更できます。表を選択した状態で、表の線にマウスポインタを置き、ドラッグして変更してください。



〈表に文字を入力する場合〉

表にはあらかじめテキストボックスが生成されています。各テキストボックスをダブルクリックして文字を入力してください。入力後、必要に応じて入力した文字の配置やサイズを変更してください。



文字を入力



ご注意

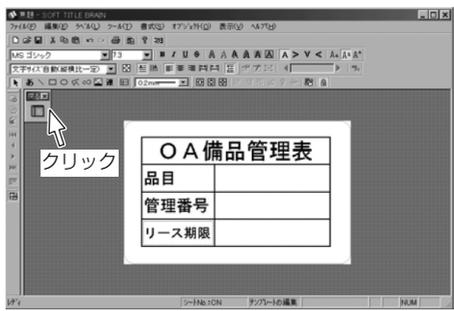
表の列幅・行の高さを変更した後で、表の設定を変更しないでください。表の列幅・行の高さの位置が変更前の位置に戻ります。



参照

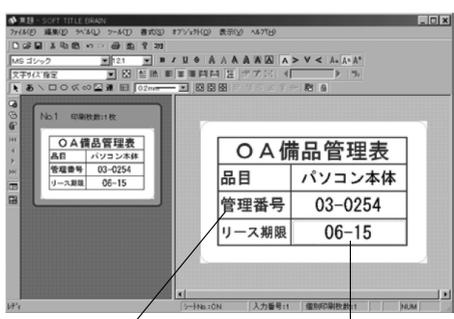
- 文字の入力…………… 47ページ
- 文字の修飾…………… 67ページ
- オブジェクトの配置について…………… 79ページ

5 表の入力・編集後、[戻る] をクリックしてください。ラベル編集画面に戻ります。
 ([編集画面切替え] をクリックしても戻ります。)



MEMO 【ラベル】メニューから【テンプレート編集画面表示】を選択するか、または、テンプレート編集画面でオブジェクトを選択せずに右クリックして【ラベル編集画面に戻る】を選択しても、戻ります。

6 ラベル編集画面に、テンプレート編集画面で入力・編集した表の内容が青色で表示されています。ラベル入力画面で、何も入力されていないテキストボックスをダブルクリックして、文字などをを入力・編集してください。



表の内容が青色で表示
 文字などをを入力・編集する



ご注意

- テンプレート編集画面で文字入力した表のテキストボックスには、ラベル入力画面で文字を入力することはできません。
- テンプレート編集画面で入力・編集した表の内容は、ラベル入力画面で変更することはできません。表の内容を変更するときは、89ページ「1」の要領で再度テンプレート編集画面に切替えてください。



●文字の入力…………… 47ページ
 ●文字の修飾…………… 67ページ

7.その他の機能について

7 50ページ「8」の要領で、改ラベルを行ってください。
新規ラベルにもテンプレート編集画面で入力・編集した表の内容が青色で表示されています。引き続き文字などを入力・編集してください。



自由用紙設定のしかた

一枚のシートに複数枚のラベルがついている既製のラベル以外にも、任意のサイズのシート（用紙）一枚ずつを一つのラベルとして印刷することができます。



MEMO

設定できるシートは、既製ラベルのように1枚のシートに複数のラベルが付いているものではなく、1枚のラベルや用紙です。

〈設定した自由用紙での作成例〉



クリスマスカード



招待状



メンバーズカード



プライスカード



ご注意

- 使用するシート（用紙）の厚さは、コピー用紙から官製はがき程度を目安にしてください。
- 紙質によっては、印字できない用紙があります。
- 表面がざらついたシート（用紙）を使用すると、印字がかすれることがあります。
- 透明なシート（用紙）は使用しないでください。
- 折れ曲がったり、丸まっている用紙は使用しないでください。

7.その他の機能について

■シート（用紙）サイズについて

設定できるシート（用紙）のサイズは、以下ようになります。

- 最大サイズ:縦425mm×横145mm
- 最小サイズ:縦80mm×横16mm



最大サイズより大きいシート（用紙）や最小サイズより小さいシート（用紙）は使用しないでください。



横141mm以上のシート（用紙）の場合、上下左右に余白が6mmとられて印刷されます。
横140mm以下のシート（用紙）の場合、上下左右に余白が3mmとられて印刷されます。



■自由用紙設定のしかた

1

【新規シート作成】をクリックしてください。



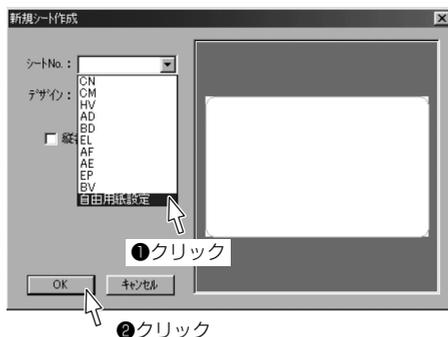
●新規シート作成…………… 44ページ



別シート作成中やファイルを開いた状態、またはラベルを表示せずにアプリケーションを起動した状態で、【ファイル】メニューから【新規シート作成】を選択することもできます。

【新規シート作成】をクリックしても選択できます。）

- 2 「シートNo.」のプルダウン部分から【自由用紙設定】を選択し、[OK] をクリックしてください。



- 3 縦・横の「用紙サイズ」を▲▼ボタンで選択するか、または、半角数字を直接入力して設定し、[OK] をクリックしてください。



入力して設定する場合、縦は80~425まで、横は16~145までの整数(半角数字)を入力してください。



- 4 設定された用紙サイズでラベル編集画面が表示されます。文字や図形などを入力・編集してください。



設定した用紙サイズを変更する場合は、【ファイル】メニューから【シートNo.の変更】を選択し、再度、上記「2」・「3」の要領で行ってください。



- オブジェクトの入力(テキストボックス・図形)と線幅の設定… 75ページ
- オブジェクトの配置について… 79ページ
- 文字の入力… 47ページ
- 文字の修飾… 67ページ

7.その他の機能について

データファイルの読みかた

■データファイルの読み込み・編集のしかた

別のアプリケーションで作成したデータファイルから、テキスト情報を参照してラベルを作ることができます。

読み込んだデータファイルを編集し、ラベルに列単位で流し込んでレイアウトすることで、一度に複数枚のラベルを作成できて便利です。



1	A	B	C	D	E	F
2	郵便番号	住所	会社名	部署名	名前	
3	〒537-8686	大阪市東成区大今里南〇〇〇	コクヨ株式会社	商品開発部	国誉 一郎	
4	〒345-6789	東京都新宿区二栄町〇〇〇	株式会社AIU	デザイン部	後藤 健二	
5	〒123-1111	京都府伏見区青葉町〇〇MSビル5F	株式会社ティース	企画部	鈴木 花子	
6	〒321-4567	兵庫県西宮市田上下町〇〇	T-M工業株式会社	営業部	田中 実	
7	〒234-5678	大阪市中央区内外本町〇〇	株式会社新創社	開発設計部	山田 太郎	



〒537-8686 大阪市東成区大今里南〇〇〇 コクヨ株式会社 商品開発部 国誉 一郎 様	〒345-6789 東京都新宿区二栄町〇〇〇 株式会社AIU デザイン部 後藤 健二 様
〒123-1111 京都府伏見区青葉町〇〇MSビル5F 株式会社ティース 企画部 鈴木 花子 様	〒321-4567 兵庫県西宮市田上下町〇〇 T-M工業株式会社 営業部 田中 実 様



- 読み込めるデータは、CSV形式・XLS形式のファイルです。それ以外のファイルは、読み込むことができません。
- テキスト情報以外は、読み込むことができません。
- 読み込んだデータの量により、処理速度が遅くなることがあります。
- XLS形式のファイルを読み込む場合は以下の点に注意してください。
 - ・ 読み込むためには、Microsoft Excel5.0以上が必要です。
 - ・ 読み込めるデータは、Excel 5.0/7.0/95/97/2000/2002/2003/2007/2010/2013で作成されたファイルです。
 - ・ シート名に「」（シングルクォーテーション）は使わないでください。データの読み込みが行えません。
 - ・ データは2行目から認識されます。1行目は列のタイトル名になります。ただし、1行目が数値データの場合は列タイトルがF1,F2…と表示されます。
 - ・ Excel内で指定した日付や通貨表示、関数などは読み込まれません。
 - ・ Excelでセルの属性を文字列として入力したデータをお使いください。

1 アプリケーションを起動し、[データファイルの読み込み] をクリックしてください。



クリック



アプリケーションの起動のしかた…………… 26ページ

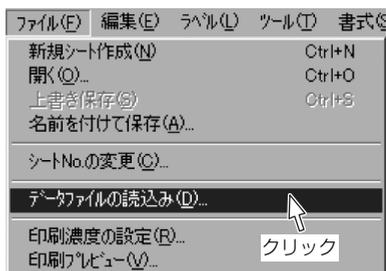
参照



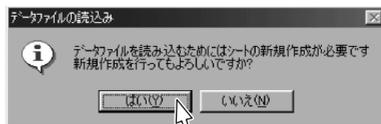
MEMO

別シート作成中やファイルを開いた状態、または、ラベルを表示せずにアプリケーションを起動した状態でデータファイルの読み込みを選択することもできます。

1. 【ファイル】メニューから【データファイルの読み込み】を選択してください。

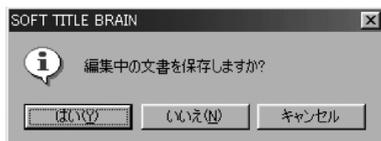


2. 右図の確認画面が表示されますので、[はい] をクリックしてください。(別シート作成中・ファイルを開いた状態で行った場合のみ)



クリック

3. 別シート作成中や開いたファイルを入力・編集していた場合は、**「2」**の操作をすると、保存を確認する画面が表示されます。保存する場合は [はい] をクリックし、63ページの要領で保存してください。保存しない場合は [いいえ] をクリックしてください。(【キャンセル】をクリックすると、データファイルの読み込みがキャンセルされます。)



7. その他の機能について

2 シートNo.を入力し、[OK] をクリックしてください。



シートNo.の入力 …… 44ページ

参照



MEMO

インデックスタイプのラベルの場合のみ、46ページの要領でフォーマットを選択してください。

3 ファイルの形式を選択した後、ファイルを指定し、[開く] をクリックしてください。



MEMO

ファイルをダブルクリックしても開きます。



4 「データファイルの読み込み」画面が表示されますので、読み込みファイルを確認し、[OK] をクリックしてください。

〈CSV形式のファイルの場合〉

[OK] をクリックしてください。



クリック

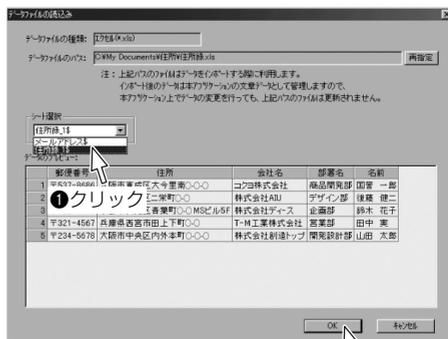
〈XLS形式のファイルの場合〉

「シート選択」で読み込むシートを選択し、[OK] をクリックしてください。



MEMO

シートの末尾には\$が付きます。



②クリック



MEMO

読み込みファイルは指定しなおすことができます。[再指定] ボタンをクリックして、「3」の要領で再度指定してください。



クリック

7.その他の機能について

5 「データの編集」画面が表示されます。必要に応じて読み込みデータを変更・修正した後、[閉じる]をクリックしてください。



- ①必要に応じて読み込みデータを変更・修正
- ②クリック

〈印刷する必要のない行がある場合〉

印刷する必要のない行のチェックボックスのチェックを外してください。



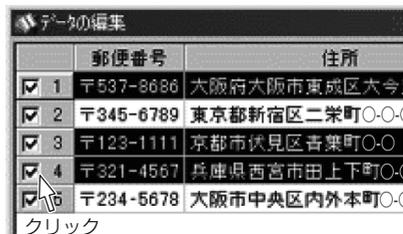
クリックしてチェックを外す



MEMO

同時に複数行のチェックを外したり、付けたりすることができます。

1. 『Shift』キーか『Ctrl』キーを押しながら、行タイトルをクリックし、複数行を選択してください。
2. 選択した行のなかから、どれか一つのチェックボックスをクリックしてください。



クリック

〈文字を変更・入力する場合〉

セルをダブルクリックし、文字を変更・入力してください。



ダブルクリックして文字を変更・入力



ご注意

読込んだデータは、本アプリケーション上の文章データとして管理されています。読み込みデータの変更・修正を行っても、元のデータファイルは更新されません。



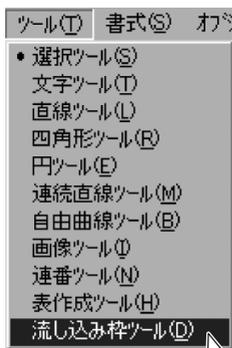
MEMO

- セルを選択し、右クリックすると、切り取り・コピー・貼り付けをすることができます。ただし、行った操作は元に戻せません。
- 文字を入力できる状態で右クリックすると、元に戻す・切り取り・貼り付け・削除・すべて選択・日本語入力-オン/オフ・再変換をすることができます。
- 列や行を削除・挿入したり、タイトル名を変更・修正することができます。110ページ「読んだデータの変更・修正のしかた」の要領で行ってください。
- 再度、読み込みファイルを指定したり、シートを選択し直したいときは、「読み込みファイル設定」をクリックし、「4」の要領で行ってください。

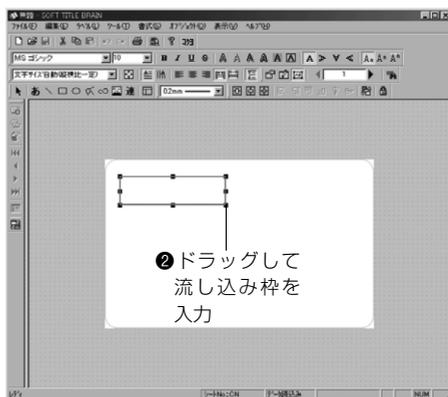
6

データ読み込みのラベル編集画面が表示されます。

【ツール】メニューから【流し込み枠ツール】を選択し、ラベル上でドラッグして流し込み枠を入力してください。（「流し込み枠」をクリックしても選択できます。）



①クリック



7

「データリンク設定」画面が表示されます。

リンク先の列タイトルを選択し、[OK] をクリックしてください。



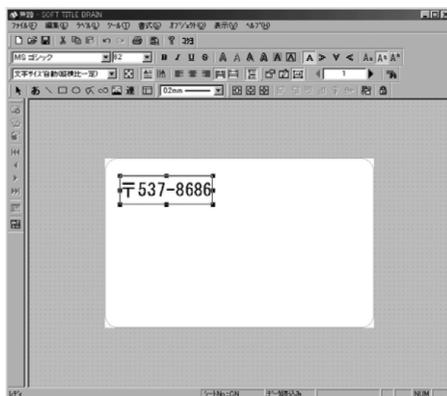
①クリック



②クリック

7.その他の機能について

8 リンクを設定した列のデータが
読込まれ、流し込み枠に、列の
最初の行が表示されます。



MEMO

- 流し込み枠に表示されるデータを変更するには、[表示データ名] の [次データ] ・ [前データ] をクリックしてください。

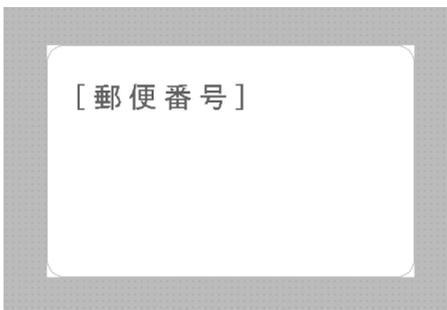


- リンク先の列は変更できます。入力した流し込み枠を選択し、ダブルクリックするか、または、右クリックして【データリンク設定】を選び、[7]の要領で再度設定してください。
- 再度、読み込みデータの編集を行いたいときは、【読み込みデータ編集】をクリックし、「5」・110ページ「読込んだデータの変更・修正のしかた」の要領で行ってください。



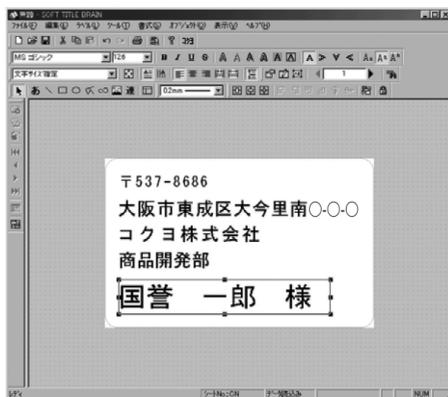
ご注意

流し込み枠にリンクを設定後、【読み込みデータ編集】をクリックして列データを削除しないでください。また、XLS形式のファイルを読み込んでリンクを設定した場合、元のファイルの1行目を変更して、【読み込みファイル設定】をクリックし、再度そのファイルを指定したり、シートを選択し直さないでください。
リンクが途切れて赤の [] 付きで列タイトルが表示され、ファイルを読み込むことができません。



9

「6」～「8」の要領で引き続きデータ流し込み作業を行い、必要に応じて、流し込み枠のサイズや配置、書式などを設定してください。



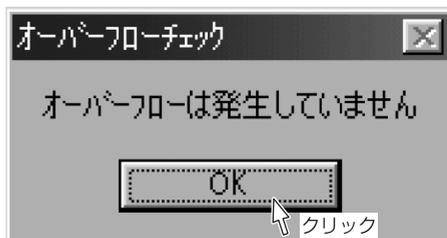
参 照

- 文字の修飾..... 67ページ
- テキスト書式設定の変更..... 74ページ
- オブジェクトの配置について..... 79ページ

7.その他の機能について

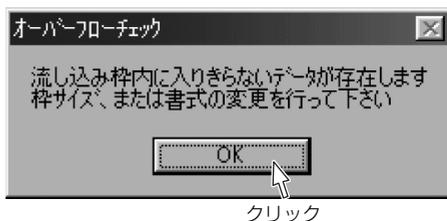
10  [オーバーフローチェック]をクリックし、流し込み枠内に入りきらないデータが存在しない(オーバーフローが発生していない)ことを確認してください。

〈オーバーフローが発生していない場合〉
右の画面が表示されます。[OK]をクリックしてください。



〈オーバーフローが発生している場合〉
右の画面が表示されます。

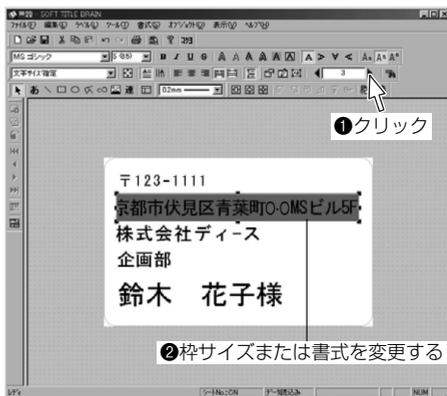
1. [OK] をクリックしてください。



2. オーバーフローが発生している最初のラベルが表示されます。流し込み枠がピンク色に表示されているので、枠サイズ、または書式の変更を行ってください。



オーバーフローが発生している場合、流し込み枠からはみ出した部分は印刷されません。



3. 再度  [オーバーフローチェック] をクリックし、オーバーフローが発生していないことを確認してください。

■読み込んだデータの変更・修正のしかた

「データの編集」画面で、読み込んだデータの列や行を削除・挿入したり、タイトル名を変更することができます。

102ページ「1」～「4」の要領で「データの編集」画面を表示させるか、「読み込みデータ編集」をクリックし、以下の要領で行ってください。



ご注意

読み込んだデータは、本アプリケーション上の文章データとして管理されています。読み込みデータの変更・修正を行っても、元のデータファイルは更新されません。



MEMO

- セルを選択し、右クリックすると、切り取り・コピー・貼り付けをすることができます。ただし、行った操作は元に戻せません。
- 文字を入力できる状態で右クリックすると、元に戻す・切り取り・貼り付け・削除・すべて選択・日本語入力-オン/オフ・再変換をすることができます。



参照

印刷する必要のない行がある場合…………… 105ページ
文字を変更・入力する場合…………… 105ページ

〈列の幅・行の高さを変更する場合〉

列または行のタイトルの線にマウスポインタを置き、ドラッグして変更してください。

データの編集		
	郵便番号	住所
	〒537-8686	大阪市東成区大今里
<input checked="" type="checkbox"/> 1		
	〒345-6789	東京都新宿区二栄町
<input checked="" type="checkbox"/> 2		

7. その他の機能について

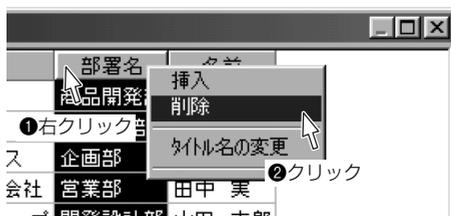
〈列または行を削除する場合〉

削除する列または行のタイトルを選択し、右クリックして【削除】をクリックしてください。



ご注意

一度削除した列や行は元に戻せません。



MEMO

セルを選択し、右クリックして【削除】▶【行】または【列】をクリックすることもできます。



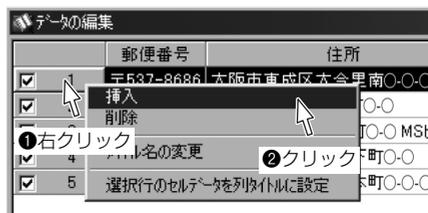
〈列または行を挿入する場合〉

1. 列または行のタイトルを選択し、右クリックして【挿入】をクリックしてください。

列を挿入する場合

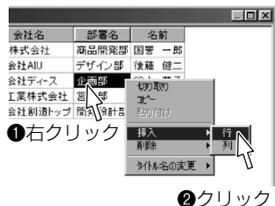


行を挿入する場合



MEMO

- 新しい列は選択した列の左、新しい行は選択した行の上に挿入されます。列・行の末尾に新しい列や行を挿入することはできません。
- セルを選択し、右クリックして【挿入】▶【行】または【列】をクリックすることもできます。



2. 挿入する列または行のタイトル名を入力し、[OK] をクリックしてください。



①入力

②クリック

3. 新しい列または行が挿入されます。各セルをダブルクリックして文字を入力してください。

列を挿入した場合

新しい列

会社名	部署名	課	名前
ココロ株式会社	商品開発部	企画課	国誉 一郎
株式会社AIU	デザイン部		後藤 健二
株式会社ディース	企画部		鈴木 花子
T-M工業株式会社	営業部		田中 実
株式会社創造トップ	開発設計部		山田 太郎

ダブルクリックして文字を入力

行を挿入した場合

新しい行

番号	郵便番号	住所	会社名
0	〒432-1234		
1	〒537-8686	大阪市東成区大今里南〇〇〇	ココロ株式会社
2	〒345-6789	東京都新宿区二条町〇〇	株式会社AIU
3	〒123-1111	京都市伏見区青葉町〇〇MSビル5F	株式会社ディース
4	〒321-4567	兵庫県西宮市田上下町〇〇	T-M工業株式会社

ダブルクリックして文字を入力

<タイトル名を変更する場合>

1. 変更する列または行のタイトルをクリックし、右クリックして【タイトル名の変更】をクリックしてください。



MEMO

セルを選択し、右クリックして【タイトル名の変更】
▶【行】または【列】をクリックすることもできます。



7. その他の機能について

2. 変更する列または行のタイトル名を入力し、[OK] をクリックしてください。



①入力

②クリック

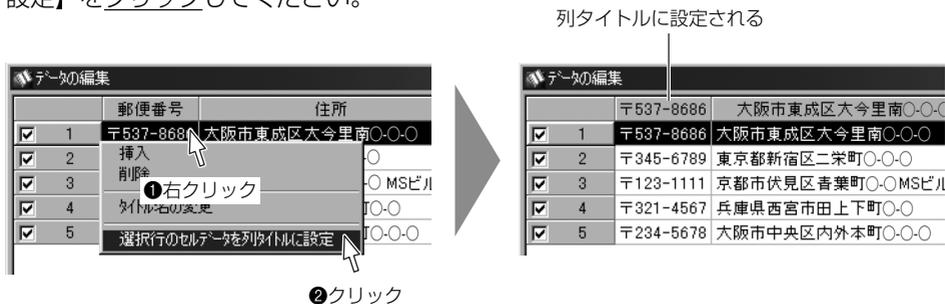
3. タイトル名が変更されます。

タイトル名

名	部	名前
会社	商品開発部	国営 一郎
IU	デザイン部	後藤 健二
ブイース	企画部	鈴木 花子

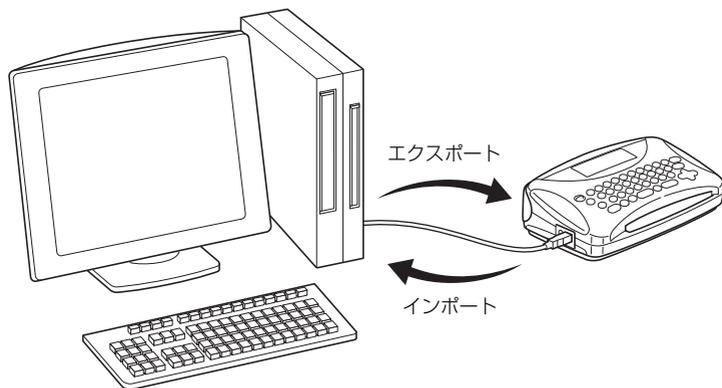
〈選択行のセルデータを列タイトルに設定する場合〉

列タイトルにする行を選択し、右クリックして【選択行のセルデータを列タイトルに設定】をクリックしてください。



8. 本体ファイルのインポート/エクスポート

タイトルブレーン2本体で登録したファイルを、パソコンにインポートする（バックアップする）ことができます。また、パソコンにインポートしたファイルを、タイトルブレーン2本体にエクスポートする（戻す）ことができます。



ご注意

- 本体ファイルのインポート/エクスポートの途中に、本体の電源を絶対に切らないでください。ファイルが消失するおそれがあります。
- 本体ファイルのインポート/エクスポートの画面で何もしない状態で5分以上経過すると、オートパワーオフにより本体の電源が切れます。その状態で作業を継続すると「本体データ」の欄が空白になり、データの転送は行われません。再度、電源を入れて作業をやり直してください。
- パソコンにインポートした本体ファイルは、パソコンでは編集できません。
- パソコンにインポートした本体ファイルの名前を変更しないでください。本体に戻すと、元のファイル名に戻ってしまいます。

本体ファイルのインポートのしかた

1 タイトルブレーン2とパソコンを接続し、タイトルブレーンの電源を入れてください。



参照

タイトルブレーンとパソコンの接続のしかた…23ページ

8.本体ファイルのインポート/エクスポート

2 アプリケーションを起動し、**×**をクリックしてください。



アプリケーションの起動のしかた… 26ページ

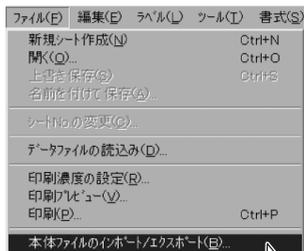
参照



MEMO

ラベル編集画面などでも、本体ファイルのインポート/エクスポートができます。

3 【ファイル】メニューから【本体ファイルのインポート/エクスポート】を選択してください。
( 【本体ファイルのインポート/エクスポート】をクリックしても選択できます。)



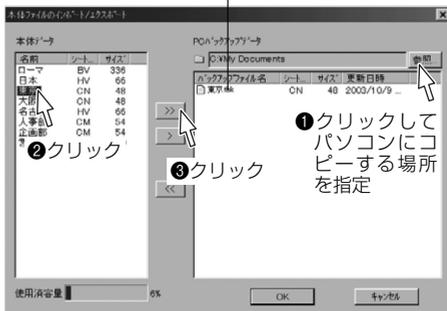
クリック

4 「本体ファイルのインポート/エクスポート」画面が表示されます。
[参照] をクリックしてパソコンにインポートする場所を指定してください。
「本体データ」から、パソコンにインポートするファイルを指定し、
>> [コピー] または、**>** [移動] をクリックしてください。

〈コピーの場合〉

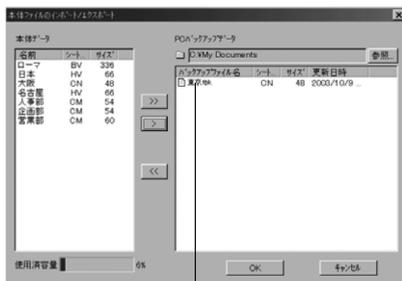
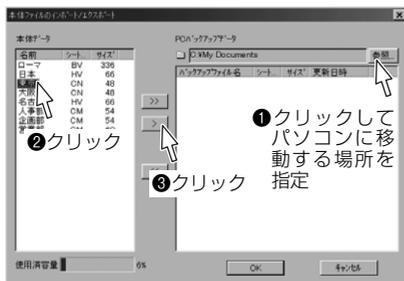
指定したファイルが、本体からパソコンにコピーされます。

④指定したファイルが、パソコンにコピーされる



〈移動の場合〉

指定したファイルが、本体からパソコンに移動します。



④ 指定したファイルが、パソコンに移動する



ご注意

移動したファイルは、本体から消えます。



MEMO

- ファイルを指定し、「本体データ」から「PCバックアップデータ」にドラッグしても移動できます。
- 一度に複数のファイルを選択して実行することもできます。複数のファイルを指定するときは、**[Ctrl]**キーを押しながら各ファイルをクリックしてください。
- 本体ファイルを指定して**右クリック**をすると、コピー・移動・削除をすることができます。

5 インポートが終わったら、**[OK]** をクリックしてください。



クリック

8.本体ファイルのインポート/エクスポート

本体へのファイルのエクスポートのしかた

1 パソコンのバックアップから、本体にエクスポートするファイルを指定し、
「送る」をクリックしてください。指定したファイルが本体に送られます。



4 指定したファイルが、本体に送られる



MEMO

- ファイルを指定し、「PCバックアップデータ」から「本体データ」にドラッグしてもファイルを送ることができます。
- 一度に複数のファイルを選択して実行することもできます。複数のファイルを指定するときは、**[Ctrl]**キーを押しながら各ファイルをクリックしてください。
- 送ったファイルは、パソコンのバックアップから消えません。
- パソコンバックアップでファイルを指定して右クリックをすると、送る・削除・フォルダの移動をすることができます。(削除する場合は119ページ参照)

2 エクスポートが終わったら、
「OK」をクリックしてください。



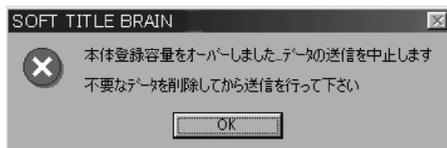
使用済容量

クリック



ご注意

「使用済容量」は、本体内の登録容量を示しています。バーがいっぱい(100%)になると本体へファイルをエクスポートすることができません。右の画面が表示されますので、「OK」をクリックした後、本体内の不要なファイルを削除してください。(119ページ参照)

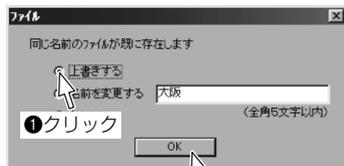




MEMO

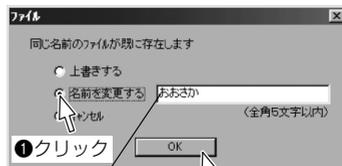
本体ファイルのインポートまたはエクスポートをしたときに、同じ名前のファイルが既に存在した場合、保存方法を確認する画面が表示されますので、[上書きする]・[名前を変更する]・[キャンセル]のいずれかを選択し[OK]をクリックしてください。

〈上書きする場合〉



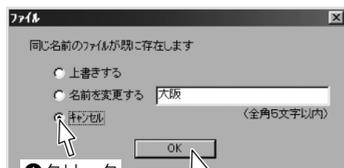
2 クリック

〈名前を変更する場合〉



3 クリック
2 変更する名前を入力する
(全角5文字以内)

〈キャンセルする場合〉



2 クリック



ご注意

- 名前を変更する場合は、全角5文字以内で入力してください。(半角文字は使用できません。)
- パソコンのバックアップから本体に名前を変更してファイルを送る場合、本体に内蔵されていない漢字や記号などを使って名前を変更すると、本体上でその文字が「・」に置き替えられて表示されます。

8.本体ファイルのインポート/エクスポート

本体ファイル / パソコンバックアップファイルの削除のしかた

本体ファイルまたはパソコンバックアップファイルを削除するときは、以下の手順で行ってください。



一度削除したファイルは元に戻りません。

ご注意

- 1 本体またはパソコンバックアップから削除するファイルを指定して右クリックし、【削除】を選択してください。

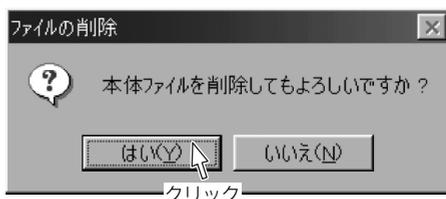


MEMO

一度に複数のファイルを選択して実行することもできます。複数のファイルを指定するときは、**[Ctrl]**キーを押しながら各ファイルを**クリック**してください。



- 2 削除を確認する画面が表示されます。
【はい】を**クリック**してください。
指定したファイルが削除されます。

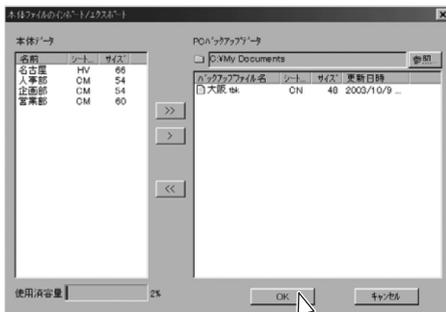


- 3 削除が終わったら、【OK】を**クリック**してください。



MEMO

パソコンのバックアップファイルは、パソコン上のバックアップファイルの保存場所から、直接ファイルをゴミ箱に捨てても削除できます。



クリック

MEMO

8 インポート／エクスポート



9.故障かな?と思ったら(不調診断)

エラー表示について

メッセージ	原因	処置	参照ページ
このシートは登録されていません	入力したシートNo.がアプリケーションに内蔵されていない。	[OK] をクリックし、正しいシートNo.を入力してください。	44
ブラウザの起動に失敗しました	ホームページ接続時に、ブラウザが起動できなかった。	[OK] をクリックし、ブラウザの有無、インターネット接続環境を確認してください。	-
サポートしていないBitmap形式です	画像のインポート時に、画像ツールでサポートしていないBitmap形式のファイルを開いた。	[OK] をクリックし、正しいファイルを指定してください。	83
流し込み枠内に入りきれないデータが存在します 枠サイズ、または書式の変更を行って下さい	データファイルの読み込み時に、オーバーフローをチェックをした際、オーバーフローが発生していた。	[OK] をクリックし、オーバーフローが発生している流し込み枠の枠サイズ、または書式の変更を行ってください。	109
現在接続されている機種ではこの機能は使用できません	タイトルプレーン3接続時に、本体ファイルのインポート/エクスポートコマンドを実行した。	タイトルプレーン2のみ使える機能です。	114
本体登録容量をオーバーしました… データの送信を中止します 不要なデータを削除してから送信を行って下さい	本体ファイルのエクスポート時に、本体登録容量をオーバーした。	[OK] をクリックし、本体に登録されている不要なファイルを削除してからエクスポートしてください。	119
TITLE BRAINが接続されていません	印刷・印刷濃度の設定時、本体ファイルのインポート/エクスポート時に本体が接続されていない。または、電源が入っていない。	本体とパソコンの接続状況を確認してください。 接続されない場合には、再度本体の電源を入れ直してください。	23
用紙を正しく挿入してから再試行して下さい	用紙(シート)を挿入していない。または、正しく挿入していない。	用紙(シート)を正しく挿入してから[再試行] をクリックしてください。	59
TITLE BRAINがオートパワーオフした可能性があります 電源が入っていることを確認してから再試行してください	本体の電源がオートパワーオフ機能により切れた。	本体の電源を入れ直し、[再試行] をクリックしてください。	62・114

メッセージ	原因	処置	参照ページ
流し込み枠内に入りきらないデータが存在します 印刷を続けますか?	データファイルの読み込みを行った場合に、オーバーフローが発生しているラベルの印刷を実行した。	オーバーフローを修正する場合は [いいえ] をクリックして、流し込み枠からはみ出した部分を再度編集し直してください。	109
USB通信に問題が発生しました	印刷時など本体とデータ通信中にUSBケーブルが外れた。	[OK] をクリックし、本体の電源を切り、USBケーブルを接続してください。再度、本体の電源を入れ、作業を継続してください。	23
TITLE BRAINに問題が発生しました 用紙を正しくセットしてください	用紙（シート）を正しく挿入していない。	[OK] をクリックしてください。印刷がキャンセルされますので、再度、印刷設定からやり直してください。	55
TITLE BRAINに問題が発生しました 印刷またはシート送りに失敗しました	印刷またはシートの搬送が正しく行われなかった。	[OK] をクリックし、本体の電源を切り、USBケーブルを外してください。その後再度電源を入れてから、タイトルプレーン2の場合は 機能 + ON/OFF してください。上記の操作を行ってもヘッドが戻らなかったり、用紙が排出されないときは、電源を切ってお買い上げの販売店にご連絡ください。	
TITLE BRAINに問題が発生しました リボンが無くなりました 交換してください	印刷中にインクリボンが消耗した。	[OK] をクリックし、新しいインクリボンカセットに交換してください。(本体の取扱説明書を参照)	
TITLE BRAINに問題が発生しました リアハッチが開いています 閉じてからOKを押し てください	印刷実行時、または、印刷中にリアハッチが開いている。	必ず先に本体のリアハッチを直ちに閉じてから [OK] をクリックし、再度印刷を行ってください。	
TITLE BRAINに問題が発生しました 異常温度です 電源をオフしてください	本体を長時間使用したり、大きい文字や黒ベタが多い文字の印刷、40℃以上の高温や2℃以下の低温の場所で使用している。	[OK] をクリックし、本体の電源を切ってしばらく放置し、20℃ぐらいの場所で使用してください。	
TITLE BRAINに問題が発生しました 電池が無くなりました 電源を切り、新しいものと交換してください	乾電池の残量が不足している。	[OK] をクリックし、新しい乾電池（別売）に交換、または、ACアダプタをご使用ください。(本体の取扱説明書を参照) 印刷中に電池残量が不足して電源が切れた場合は、62ページの要領で処置してください。	
TITLE BRAINに問題が発生しました 電源を切り、用紙を取り除いてください	印刷時に、シートの搬送が正しく行われなかった。	[OK] をクリックし、いったん本体の電源を切り、再度電源を入れてください。用紙（シート）は自動的に排出されます。それでも排出されない場合は、62ページの要領で強制的に排出してください。	

10.索引

英数字

CSV形式	101
TITLE BRAIN対応マーク	40
USBポート	23
XLS形式	101

あ行

アンインストール	21
印刷	55
印刷開始位置	56
印刷の中止	60
印刷プレビュー	52・58
インストール	16
上付き	35
上詰め	36
右端位置合せ	38・80
円	32・37・77
オーバーフローチェック	37・109
オブジェクト	65
オブジェクト作成ツールバー	37
オブジェクト配置ツールバー	38
オブジェクトメニュー	33

か行

回転	35・68
改ラベル機能	50
鏡印刷	57
影	35
下線	35
画像	32・37・83
画像のインポート	83
下端位置合せ	38・80
切り取り	31・34
均等割付	36
均等割付(行)	36
繰り返し回数	86
クリック	9
コピー	31・34

さ行

最終ラベル	32・39・51
サイズ	35・68
左端位置合せ	38・80
左右中央位置合せ	38・80
左右中央配置	38・80
シート挿入	41・59
四角形	32・37・76
しきい値	84
下付き	35・69
下詰め	36
斜体	35・69
自由曲線	32・37・78
自由用紙設定	98
使用許諾契約書	2
上下左右中央配置	38・80
上下中央位置合せ	38・80
上下中央配置	38・80
上端位置合せ	38・80
初期値	86
書式メニュー	32
白抜き	35・69
白抜き影	35
新規シート作成	31・34・44
新規ラベル作成	32・39・50
スキップ印刷	56
スクロールバー	29
ステータスバー	29
全体選択	31・79
選択	32・37・65
選択オブジェクト切替え	33・38・66
先頭ラベル	39・51
線幅	38・78
線幅設定ツールバー	38
増分	69

た行

タイトルバー	29
縦書き	36・71
ダブルクリック	9
中央	35
中央配置	36
直線	32・37・76
ツールメニュー	32
次データ	37・107
次ラベル	39・51
データファイルの読み込み	101
データ読み込みツールバー	37
テキスト配置ツールバー	36
テキストボックス最大化	32・36・70
テンプレート	32・39・89
トピックの検索 (ヘルプ)	33・34
ドラッグ	9
取り消し線	35

な行

流し込み枠	32・37・106
-------	-----------

は行

バックグラウンド	35
貼り付け	31・34
ハンドル	65
左付き	35
左詰め	36・72
表作成	32・37・92
表示データ名	37・107
表示メニュー	33
標準ツールバー	34
開く	31・34・64
ファイルメニュー	31
フォーマット選択	46
フォント	35・67
太字	35
ヘルプメニュー	33
編集画面切替え	39・89
編集メニュー	31
ポイント	9
保存	34・63
本体ファイルのインポート/エクスポート	114

ま行

前データ	37・107
前ラベル	39・51
右クリック	9
右付き	35
右詰め	36
メニューバー	30
文字	32・37・75
文字サイズ調整モード	36・70
文字ツールバー	35
元に戻す	31・34

や行

やり直し	31・34
横書き	36
読み込みデータ編集	37
読み込みファイル設定	37・105

ら行

ラベル管理画面	28
ラベル管理画面の表示/非表示	39
ラベル削除	32・39・51
ラベルツールバー	39
ラベル入力画面	28
ラベルの位置表示	42
ラベルの種類	43
ラベル複製	32・39・51
ラベルメニュー	32
立体	35
両端割付	36
両面異内容	46
両面同内容	46
リンク	106
連続直線	32・37・77
連番	32・37・85
ロック	33・38・81
ロック解除	38・81

わ行

枠	35
---	----

MEMO

